

商 工 労 政 課

○ 商工関係

1 消費生活関連事業

(1) 消費生活相談業務

伊勢市消費生活センターにおいて、架空請求や悪質商法、クーリング・オフなど、消費生活にまつわるトラブルに関し、専門相談員による相談を行った。電話または窓口にて相談者にアドバイスを行い、相談内容によっては、事業者への確認や交渉の手助けを行うなど、消費者問題の早期解決に努めた。

消費生活相談件数	681 件
----------	-------

(2) 啓発活動

消費者被害を未然に防ぐために地域包括支援センターと連携をとりながら、高齢者クラブを中心に出席講座を開催した。出席講座では、消費生活センターの紹介、被害にあわないために気をつけること、これまでの事例をもとに市で作成した紙芝居を使ってわかりやすい講座を実施した。

また、子どもの頃からの消費者教育の重要性を認識し、小・中学校での出席授業を実施した。

小学校では、お買い物ゲームを通して、お金のつかい方を学ぶ体験型の授業を実施した。中学校においては、三重県司法書士会の協力を得て、日常生活に役立つ身近な法律の話を交えた講座を実施した。

出席講座件数 (高齢者クラブほか)	11 件
----------------------	------

出席授業実施校数 (小・中学校)	5 校
---------------------	-----

(3) 多重債務対策

多重債務に陥っている人が誰にも相談できず、解決の糸口さえ見つからないということがないよう、関係各課に消費生活センターへの案内を依頼した。

多重債務について相談があった際は、消費生活センターにて相談を受け付け、基本的な事項を聴き取ったうえで、司法書士や弁護士事務所の紹介・相談予約を行った。多重債務者を確実に法律専門家へつなげることで、多重債務問題の解決に努めた。

また、三重県司法書士会の協力を得て、毎月第3木曜日に無料多重債務相談会を開催した。

多重債務相談件数	42 件
----------	------

2 融資対策事業

小規模事業者の資金運営の円滑化を図るため、三重県の融資制度である小規模事業資金等の貸付

を受けた事業者に対して、保証料の補給補助を行った。

(1) 小規模事業資金保証料補給補助金

伊勢商工会議所または平成 19 年以降に小俣町商工会の斡旋により、三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金または、小規模借換資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。

件 数	保証料補給補助金額	取 扱 金 融 機 関 名
146 件	4,798,807 円	百五銀行、第三銀行、三重信用金庫、中京銀行ほか

(2) 中小企業信用保険法の規定による特定中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる融資金額は、中小企業信用保険法によりその上限が定められているが、営業不振や取引先の倒産などで緊急の事由により資金需要が発生した際、一定要件に該当する場合に、一般の保証枠とは別枠で信用保証による新たな融資が受けられるように、「特定中小企業者」として認定し、中小企業者の資金調達の円滑化を図った。

認 定 要 件	認定件数	根 拠 法 令
全国的に業況の悪化している業種に属する中小企業者	59 件	中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 5 号
金融機関の経営の相当程度の合理化に伴って借入れが減少している中小企業者	2	中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 7 号

3 中小企業振興対策事業

伊勢中小企業相談所（伊勢商工会議所内）及び小俣町商工会が中小企業の経営改善及び経営強化を支援するための経営指導事業等に要する経費に対して補助金を交付し、中小企業の振興に寄与した。

また、中小企業等への相談対応や指導の充実を図るため、伊勢中小企業相談所及び小俣町商工会が行う専門家派遣に係る経費に対して補助金を交付し、中小企業等が抱えている課題解消の支援を行った。

経営改善普及事業補助金

助 成 団 体	事 業 内 容	補助金額
伊勢中小企業相談所	中小企業等に対する ・講習会、セミナーの開催 ・融資相談、経営指導、金融機関の斡旋 など	円 10,000,000
小俣町商工会	中小企業等に対する ・経営指導、講習会の開催 ・決算、年末調整、消費税申告指導 など	7,880,000
計		17,880,000

専門家派遣事業補助金

助 成 団 体	事 業 内 容	補助金額
伊勢中小企業相談所	中小企業等への相談対応や指導の充実を図るため、中小企業等が抱えている課題を専門的・実践的な指導、助言を行う専門家を派遣する。	円 726,000
小俣町商工会	中小企業等への相談対応や指導の充実を図るため、中小企業等が抱えている課題を専門的・実践的な指導、助言を行う専門家を派遣する。	223,000
計		949,000

4 商業活性化推進事業

交通環境の変化や大型店の郊外への出店などを要因として、中心市街地商店街等の集客力・求心力が弱体化している。地域コミュニティの担い手としての役割が期待されている中心市街地商店街等の活性化や商業の活性化を図るために、商業活性化推進事業、商店街空店舗対策事業、商店街活性化対策事業、商店街PR支援事業、商店街LED化支援事業を実施した。

(1) 商業活性化推進事業

市内の商業振興、地域住民や観光客の買い物環境の整備を目的に、消費者のニーズに応えた店舗や商店街づくり、商店街等の魅力を高めるための情報整備や企画の創出、購買の利便性や安全性を高める商業環境の整備を新たに実施する店舗や商店街等に補助金を交付した。

交 付 団 体	事 業 名	補助金額
外宮参道ギャラリー委員会	外宮参道ギャラリー開設事業	円 1,000,000
(公社)伊勢市観光協会	観光音声ガイドサービス事業	956,000
(公社)伊勢市観光協会青年部	飲食店マップWeb化プロジェクト	600,000
伊勢市商店街連合会	商店街とお客さまを結ぶホームページ製作事業	404,000
施行店舗の会	施行店舗の会 伊勢市内周遊事業	1,000,000
伊勢おでかけ地図実行委員会	伊勢おでかけ地図製作事業	108,000
計		4,068,000

(2) 商店街空店舗対策事業

地域のコミュニティの場として中心的役割が期待されている中心市街地商店街の集客力及び機能回復を目的として、中心市街地商店街の空店舗の解消を図るため、いせTMO（事務局：伊勢商工会議所）が実施する「テナント確保支援事業」に補助金を交付した。この事業は、新規創業者の店舗開設及び経営の一助にもなっている。

テナント確保支援事業

	商店街名	名 称	業 種	補助金額
継続	浦之橋商店街	MAMPAN	食品製造販売業	円 90,000
新規	新道商店街	エバーラケット	運動用品小売業	388,800
	高柳商店街	(株)光本	卸売業	194,400
計				673,200

(3) 商店街活性化対策事業

中心市街地商店街等の集客力及び機能の回復を図り、中心市街地の活性化につなげるために、いせTMO（事務局：伊勢商工会議所）が実施する中心市街地商店街やこれに類する団体が地域と一体となって消費者に魅力ある商店街づくりに補助を行う商業まちづくり補助金事業（公募）に対して補助金を交付した。

商業まちづくり補助金

交 付 団 体	事 業 名	補助金額
高柳商店街	高柳商店街 大型広告等掲示事業	円 350,000
新道商店街	おかげ様の精神で地域をつなぐ商店街活性化イベント事業	350,000
浦之橋商店街	うらのはし・スタンプラリー “スタンプを集めて、防災グッズをゲット” 事業	225,570
外宮参道発展会	外宮参道ギャラリー及び写真展広報媒体作成事業	48,384
計		973,954

(4) 商店街PR支援事業

商店街の活性化や空店舗の解消を図るために、伊勢商工会議所が行ういせTMOの空店舗対策事業の対象となる商店街や伊勢市商店街連合会及びそれに加盟している商店街の広報に対して補助金を交付した。

交 付 団 体	事 業 名	補助金額
伊勢商工会議所	商店街空店舗・イベント広報事業	円 654,000

(5) 商店街LED化支援事業

商店街の振興や活性化には、商店街の安全性や利便性の向上が必要不可欠であり、環境に配慮した商店街づくりや商店街の活性化を図るために、商店街が行う街路灯等のLED化に係る費用の一部に対して補助金を交付した。

交 付 団 体	補助金額
さくら通り発展会	円 144,000
高柳商店街	2,000,000
明倫商店街	297,000
計	2,441,000

5 住宅・店舗リフォーム等促進事業補助金

市内住宅関連産業の振興を促進し、地域経済の活性化を図るため、市民や商業者のリフォーム又は増改築、店舗の新築工事の意識を促すべく、住宅又は店舗のリフォーム等を行う者に対し、補助金を交付した。

区 分	補助件数	補助金額
店 舗	件 2	円 400,000
住宅・店舗 併 用	14	2,130,000
住 宅	101	9,097,000
計	117	11,627,000

6 地域産品販売促進事業

伊勢の食材や特産品などの地域資源の販路拡大や全国における認知度の向上、伊勢の魅力を全国へ発信することを目的に、伊勢市産業振興会や伊勢市観光協会等の関係団体と連携し、首都圏や大都市圏において、物産展や食材のPRを行った。

また、伊勢市内の中小企業者及び中小企業団体等の販路拡大及び新規需要開拓を促進するため、国内外における商談会や見本市等に出展する中小企業者及び中小企業団体等に対して補助金を交付した。

・首都圏及び大都市圏での物産展等の状況

開催日	内 容	場 所
26. 4. 18～26. 4. 20	春の全国ふるさと観光物産展2014	せんちゅうパル（大阪府・豊中市）
26. 5. 24	福岡ヤフオク！ドームでの伊勢市観光物産PR	福岡ヤフオク！ドーム （福岡県・福岡市）
26. 7. 12～26. 7. 13	伊勢の観光物産展&観光PR in 東京スカイツリータウン	東京スカイツリータウン タワーヤード4階スカイアリーナ （東京都・墨田区）
26. 8. 27	伊勢産品のPR	㈱東急ストア（東京都・目黒区）

26. 10. 19～26. 10. 20	伊勢の逸品フェア	三重テラス（東京都・中央区）
26. 11. 22～26. 11. 23	伊勢・鳥羽・志摩うまいもん列車	大阪上本町駅構内 （大阪府・大阪市）
26. 12. 20～26. 12. 21	「WACCA池袋」での JRタイアップイベント	WACCA I KEBUKURO （東京都・豊島区）

・その他物産展等の状況

26. 12. 6～26. 12. 7	2014 中日三重お伊勢さんマラソン 伊勢志摩物産展	三重県営総合競技場周辺
27. 2. 15	第 8 回美し国三重市町対抗駅伝	三重県営総合競技場周辺

・伊勢市商談会等出展支援事業補助金

交 付 対 象 者	出展した商談会等の名称	補助金額
株式会社おみくじ工房	第 79 回インターナショナル・ギフトショー 春 2015	円 100,000
北村物産株式会社	日本アクセス乾物・乾麺・アクセスオリジナル 商品展示商談会	81,000
キクカワエンタープライズ 株式会社	HKPCA & IPC SHOW	100,000
計		281,000

7 ものづくり推進事業

（１）新産業創出支援事業補助金

「新たな製品」を創り出せる優れた技術を持つ中小製造業者又は中小製造業者・団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、補助金の交付事務を行い、企業力の強化を図った。

補助金交付事業者及び交付額の決定にあたっては、大学教授をはじめとする学識経験者等から構成される審査会で、事業内容及び実績等の審査を行った。

なお、補助金の交付については、補助決定事業者の補助対象事業の一部が技術的困難を理由として実施不可能となったことなどから、補助対象事業の要件を満たさなくなったため、未交付となった。

事業者名	交付額	事業内容
株式会社ホーベック	0 円	3 次元及び湾曲形状の SW-FRP パイプの製作事業

（２）伝統工芸品等再生支援事業補助金

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付した。

事業者名	交付額	事業内容
伊勢春慶の会	300,000 円	伊勢春慶塗師養成事業《箱物編》

(3) 創業・再挑戦アシスト資金保証料補給補助金

創業・起業者の資金運営円滑化を図るため、三重県の融資制度である創業・再挑戦アシスト資金の融資を受けた事業者に対して、保証料の補助を行った。

件数	保証料補給補助金額
31 件	301,750 円

(4) (株)三重TLOへの加入及び関係機関との連携

企業と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進するなど、産学官連携の拠点と位置づけられている(株)三重TLOに継続加入し、地元企業が学術機関へ技術相談したり、大学等が持っている技術の収集などが安易にできる環境を整えた。

また、国・県・大学や高等専門学校をはじめとする支援機関・研究機関などと連携し、中小企業支援のメニューや試験設備の情報を収集するとともに、これら機関と支援体制の繋がりを太くした。

(5) 伊勢市産業支援センター運営協議会

伊勢市産業支援センターの円滑かつ適正な運営を図るため、地元企業や関係団体などで構成される運営協議会を開催し、地域企業の意見を施策に反映したり、関係団体との連携・調整に努めた。また、指定管理者による運営について意見聴取を行った。

8 産業支援センター管理運営経費

伊勢市産業支援センター

平成24年度より、専門性を向上させ効率的・効果的に業務を進めるため指定管理制度を導入した。指定管理者は、施設の管理運営と企業訪問による課題の聞き取り及び解決、起業家育成、各種講習会の開催などに取り組んだ。

指定管理者：伊勢商工会議所

指定管理期間：平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）

指定管理料：総額225,894,063円（平成26年度分46,028,571円）

(1) 起業支援

①創業支援員の配置

新しい事業の実現のため、起業家とともに課題を分析し、解決のための手法の提案や、経営・財務など専門家との連携など、起業家の事業活動を総合的にサポートする創業支援員を常勤で配置した。

ア 創業支援員 インキュベーションマネージャー 渡邊 憲一
 イ 相談件数 655 件（外部）
 161 件（起業家支援室及び起業準備支援室入居者）
 計 816 件
 ウ 起業勉強会 開催回数 11 回、累計参加者 201 人

②起業家支援室の使用実績

事業者名または個人名	利用期間	事業内容
社労士 Office ウェルキャリア	平成 23 年 9 月～ 平成 26 年 8 月	人材採用サポート・人材紹介・人事労務管理業務の代行
(株)デルテックサービス	平成 24 年 4 月～ 平成 26 年 8 月	環境保全薬品の開発販売 産業廃棄物処分のコンサルティング
日本モッキ	平成 27 年 2 月～	国産材を活用した商品・サービスの企画及び販売

③起業準備支援室の使用実績

使用者名	使用期間	事業内容
●● ●●	平成 25 年 6 月～ 平成 26 年 5 月	伊勢志摩ポータルサイトの構築
●● ●●	平成 25 年 6 月～ 平成 26 年 5 月	個人向けネットビジネス、起業コンサル&サポート
●● ●●	平成 26 年 10 月～ 平成 27 年 3 月	片付けの向こうにある、快適で効率の良い生活空間・オフィス空間を提供
●● ●●●●	平成 27 年 1 月～ 平成 27 年 3 月	楽天ダイニング(グルメサイト)掲載店開拓事業
●● ●●	平成 27 年 1 月～	地場産業・伝統工芸を利用した「新しいお土産物」の製作・販売
●● ●●	平成 27 年 2 月～	ノイズ耐性(EMS)基盤設計・電磁環境調査サービス

④起業スキルアップセミナー及び起業意識啓発セミナーの開催

開催日	講座名	講 師	受講者数
26.12. 6	創業のためのプレゼンテーション実践（計画編）	(有)ヒキタ経営情報事務所 中小企業診断士 疋田 眞也 氏	13 人
26.12.13	創業のためのプレゼンテーション実践（実践編）	(有)ヒキタ経営情報事務所 中小企業診断士 疋田 眞也 氏 ラジオパーソナリティ、MC アドバイザー 篠原 匡朱子 氏	12 人

(2) 技術力向上支援（企業力の強化）

①企業支援員及び職員による企業訪問及び支援

市内の製造業を中心とした中小企業の活性化を図るため、製造業者個々の課題を把握しその解決に向け、関連支援機関等への橋渡しや各種支援策の紹介を行い、企業の円滑な事業活動を支援する「企業支援員」3名を配置した。また、職員も企業訪問を行い、市内企業の状況把握、

他団体等の企業支援メニューの紹介等を行った。

企業訪問件数：1,266 件（469 社）

（３）販売力向上、販路拡大支援（企業力の強化）

①大都市圏等展示会への視察・出展支援事業

四日市市で開催された「みえリーディング産業展 2014」の展示会にブースを出展し、市内企業とともに商品PRに努めた。また、展示会出展を計画している事業所及び新たな企業とのマッチングを求めている事業所などと視察を行った。

- ・開催日 平成 26 年 11 月 14 日（金）、15 日（土）
- ・開催場所 四日市ドーム
- ・参加企業 6 社 16 名
- ・視察参加企業 14 社 17 名（視察は平成 26 年 11 月 14 日（金）のみ）

②Web による企業情報紹介（伊勢市ものづくり企業データベース）及び情報発信力強化

新たな外注・発注先や、協力工場探し・工場検索、企業連携先の探索などの利用のため、伊勢市内に立地する製造業関連の事業所・企業情報を掲載した。また、市が行っている製造業関連の事業所を対象とした補助金の情報や、各種研修など企業支援情報のほか、国・県などの支援事業を掲載した。

（４）人材育成支援（企業力の強化）

ものづくり人材育成セミナー等の開催

開催日	講座名・タイトル等	講師	受講者数
26. 6. 10	ICT(情報通信技術)活用セミナー(注 1)	水谷 IT 支援事務所 所長 中小企業診断士・IT コーディネーター 水谷 哲也 氏	23 人
26. 6. 25	食資源を活用した活性化研究会(注 2)	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部観光政策室長 名古屋・研究開発部 主任研究員 田中 三文 氏	24 人
26. 7. 14 ～ 27. 2. 16 全 12 回	製造管理者育成基礎講座 (注 1)2 日間、(注 3)10 日間 (三重県の受託事業)	シンフォニアテクノロジー(株)能力開発センター チーフインストラクター 村山 昌彦 氏	12 社 延べ 130 人
26. 7. 24	中小企業のための事業承継セミナー(注 1)	中小企業基盤整備機構 中部本部 事業承継コーディネーター 水野 輝彦 氏	14 人
26. 8. 21	職場のリスクアセスメント、労働災害防止策の紹介と、自然災害に備える自社の BCP 策定セミナー(注 1)	(一財)三重県環境保全事業団 国際規格審査登録センター 審査部部長 黒田 伸弘 氏 第 1 種衛生管理者/衛生工学衛生管理者 三村 和義 氏 みえ防災コーディネーター 永木 良明 氏	12 人

26. 9. 12	百五銀行 出張よろず相談会 in伊勢(注1)	三重大学社会連携研究センター コーディネーター 三重 TLO コーディネーター 三重県よろず支援拠点コーディネーター	13 人
26. 9. 26	売り場で即効!!ブラックボード POP 講習会(注1)	今村明子デザイン室 代表 今村 明子 氏	27 人
26. 10. 3	展示会・商談会を活用した新規顧客発掘セミナー及び個別相談会(注1)	(株)船井総合研究所 チーフコンサルタント 楠元 武久 氏	延べ 16 人
26. 10. 21 26. 10. 22	貿易実務講座 (初級編) (注2)	貿易アドバイザー 前田 直明 氏	延べ 37 人
26. 11. 5	管理者向けコミュニケーション スキルアップセミナー(注1)	(公財)産業雇用安定センター 上席コンサルタント 杉江 伸一朗 氏	14 人
26. 11. 11 26. 11. 12	貿易実務講座 (中級編) (注2)	貿易アドバイザー 前田 直明 氏	延べ 25 人
27. 2. 20	人材の育成・活用セミナー (注1)	(株)百五経済研究所経営コンサルティング部 部長兼主席研究員 大地 勉 氏	9 人
27. 2. 24	従業員スキルアップセミナー (注1)	シンフォニアテクノロジー(株)能力開発センター チーフインストラクター 村山 昌彦 氏	34 人
27. 3. 3	補助金有効活用セミナー及び 個別説明会(注1)	独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中部本部 松井 督卓 氏 三重県よろず支援拠点 コーディネーター 野々垣 斉 氏	延べ 31 人

開催場所・・・(注1)産業支援センター

(注2)伊勢商工会議所

(注3)シンフォニアテクノロジー(株)五十鈴寮

(5) 連携の促進

①先進地域等広域ネットワーク構築事業

事業を展開していく上で、先進企業、大学、研究機関をはじめ様々な外部機関（人材）との交流による気づきや連携が重要であるため、研修会、懇談会、セミナー等に参加し連携を深めた。

参加状況：23 件（県外：6 件、県内：17 件）

②大学・高専等との連携事業

中小企業の課題に対して、三重大学、三重大学社会連携研究センター、（株）三重 TLO、鈴鹿高専、鳥羽商船高専、三重県工業研究所と連携し、それぞれが持つシーズ利用による新分野開拓、共同研究、相談等対応できるよう橋渡しを行った。

③農商工連携促進支援事業

(財) 三重県産業支援センターが主催する「みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金」及び「みえ農商工連携応援ファンド助成金」の説明会を開催した。

内 容	参加者数
説明会（前期）	16 社／17 名
ブラッシュアップ相談会（前期）	8 社／9 名
説明会（後期）	24 社／25 名
ブラッシュアップ相談会（後期）	7 社／8 名

(6) 地域伝統技術の活用

①地域伝統技術講習会・講座等の開催

ア 伊勢春慶塗教室

伝統工芸品である伊勢春慶の普及啓発の一環として、これまで漆塗りを体験したことのない人を対象に、木製の弁当箱へ伊勢春慶塗を施す一連の流れを体験してもらった。

- ・開催日 平成 26 年 6 月 26 日（木）～9 月 4 日（木）毎週木曜日 全 9 回
- ・開催場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室
- ・講 師 元・工芸指導所長 西井 幸平 氏
- ・受講者数 8 人（延べ 69 人）

イ 漆芸講座

漆芸技術の向上と人材の育成を目的として漆芸講座を開催し、木地呂・伊勢春慶・彩漆・乾漆等の技法習得に取り組んだ（昭和 61 年 5 月から開催）。また、漆芸を学んだ人で、情熱をもって漆芸を続けたい人に制作場所を提供し学んでもらう場として「漆芸自主講座」を、これまで漆芸技術の基礎を身に付け、目的をもって漆芸を学びたい人を対象に、テーマを与え総合的に漆芸を学ぶ総合漆芸講座を開催した。

- ・開催日 各コース 週 1 回
- ・回 数 161 回
- ・場 所 伊勢市産業支援センター 漆芸室
- ・講 師 元・神宮司廳造営局神宝装束部長 神原 佑司 氏
元・工芸指導所長 西井 幸平 氏
- ・受講者数 23 人（延べ 898 人）

ウ 木工講座

市内の木工産業の振興を目的に、優れた木工技術を持つ技術者の育成を図るために行い、木工の技術・技法の習得、木工道具の仕込みの習得のための指導を行った。講座開催日以外にも自主活動日を設定し、受講生の技術の向上を図った。

- ・開催日 月 2 回（第 2・4 土曜日）
- ・講座回数 全 22 回

- ・開催場所 伊勢市産業支援センター 作業実習室
- ・講師 家具職人 井坂 益水 氏
- ・受講者数 10 人（延べ 218 人）
- ・自主活動 22 回、10 人（延べ 106 人）

（７）雇用・就労支援

地元企業の人材確保の足がかりとして、９月及び１０月に三重大学と協力する形で、三重大学工学部の学生を対象に地元企業の見学会を開催し（延べ学生 100 人、引率 9 人が参加）、企業概要や独自技術を学生に P R する場を地元企業に提供、また、２月には皇学館大学を対象に実施（学生 32 人、引率 3 人が参加）し、将来の雇用につながるよう努めた。

（８）計画・推進体制の確立

①企業データベース、企業カルテの整備

企業の所在地・業務内容・取引先などの基礎情報を集約した「企業データベース」と、企業訪問や支援経過を記録した「企業カルテ」を整備した。

企業数	新規登録	廃業	市外移転
538 社	6 社	12 社	0 社

②市内製造事業者アンケートの調査

市内製造事業者に対し現状の企業活動において経営・技術・販路拡大等の課題・問題点等の抽出を目的としたアンケート調査を行った。

発送：511 社、回収：137 社（回収率：26.8%）

（９）その他

①企業支援情報の発信

市内中小製造業者に対して、伊勢市産業支援センター及び関連機関の企業支援に関する情報を、メールマガジンとダイレクトメールにて情報提供を行った。

情報提供方法	情報提供企業数	送付件数
メールマガジン(Eメール)	305 社	52 回
ダイレクトメール(郵送)	533 社	2 回

②材料試験及び化学分析機器、木工機械等の利用・貸出

利用種別	件数
材料試験	8 件
化学分析機器の利用	9 件
木工機械の利用	88 件
その他機器の貸出	13 件

○ 労政関係

1 雇用対策事業

(1) 若年求職者等支援事業

若年者の中には、離職を繰り返す方、働く意欲はあるものの就職に至らない方、働く意欲が低下するなど社会生活そのものが困難な方など、職業的な自立が困難な方が多数存在しており、その要因は多岐に及ぶ。若年求職者・無業者に対して、国の設置する「いせ若者就業サポートステーション」と連携し、個別ケースに合わせた支援を実施することで、安定した就職の実現を目指した。

○伊勢市若者就職総合支援業務委託

- ・ 実施期間 平成 26 年 4 月 10 日～平成 27 年 3 月 31 日
- ・ 委託先 特定非営利活動法人いせコンビニネット
- ・ 委託料 4,453,941 円
- ・ 実績
 - ・ 臨床心理士等を配した面談による心理カウンセリング
実施回数：12 回
利用者数：延べ 30 人
 - ・ 適職診断等を用いた若者キャリア開発プログラム
実施回数：30 回
利用者数：延べ 94 人
 - ・ 講演会
実施回数：1 回
参加者数：41 人
 - ・ セミナー・講座
実施回数：25 回
利用者数：延べ 100 人
 - ・ 就労体験
実施回数：99 回
利用者数：延べ 312 人
 - ・ 市内事業所見学会
実施回数：5 回
利用者数：延べ 22 人
 - ・ ネットワーク会議
民間ネットワーク会議 平成 27 年 3 月 27 日 出席者数：11 人
行政ネットワーク会議 平成 26 年 10 月 23 日 出席者数：11 人

○若年者就職支援事業業務委託（【緊急雇用創出事業】地域人づくり事業）

「緊急雇用創出事業 地域人づくり事業」を活用した「若年者就職支援事業」を実施した。

・実施期間 平成 26 年 8 月 8 日～平成 27 年 3 月 31 日

・委託先 特定非営利活動法人いせコンビニネット

・委託料 2,842,725 円

・実績 ・学び直しセミナー

実施回数：164 回

利用者数：延べ 164 人

・ボランティア体験

実施回数：21 回

利用者数：延べ 82 人

・事業目標（就職者数） 5 人以上

・事業結果（就職者数） 6 人

（2）雇用対策一般事業

○障がい者雇用促進

伊勢公共職業安定所と連携し、障がい者雇用の促進を目的として、伊勢市内の障害者雇用状況報告対象事業所（従業員 50 人以上）を訪問し、啓発活動を実施した。

実施日	訪問事業所数
26. 6. 17～26. 7. 23	10

2 勤労者福祉事業

（1）中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金

中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、伊勢市、鳥羽市、玉城町で構成する一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対して管理運営費の補助を行った。

名 称	一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター
所在地	八日市場町 13 番 13 号（サンライフ伊勢内）
実施事業	生活安定事業、健康管理事業、教室・生涯学習援助事業、余暇活動事業、余暇施設事業 など
補助金額	13,284,000 円（うち伊勢市負担金 10,372,000 円）
会員数 （平成 27 年 3 月）	752 事業所、4,445 人

（2）勤労者ふれあい事業

10 月 13 日（月・祝）県営サンアリーナにて、一般社団法人伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催する、福祉フェスティバル「勤労者ゆとり T・I・M・E y o u・ゆう・遊 i n g」に向けて、実行委員会により準備を進めていたが、台風 19 号の接近のため中止となった。

3 高年齢者労働対策事業

(1) 高年齢者労働能力活用事業費補助金

社会の高齢化が急速に進む中、高年齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した、公益社団法人伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。

名 称	公益社団法人 伊勢市シルバー人材センター
所在地	河崎 1 丁目 4 番 35 号
実施事業	高齢者に相応しい臨時的・短期的な就業（軽作業）、福祉・家事援助サービス等の提供
補助金額	20,423,000 円
会員数等 (平成 27 年 3 月)	会員数 853 人、延べ就業人数 82,213 人 受託件数 4,693 件、契約金額 365,834,590 円

4 勤労者福祉施設管理運営事業

(1) サンライフ管理運営事業

勤労者福祉施設であるサンライフ伊勢について、平成 18 年 9 月から指定管理者制度に移行しているため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターによる管理運営を実施した。

指 定 管 理 者	指 定 管 理 料 (平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月分)
一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター	5,741,486 円

○ 運営状況

ア 利用件数及び利用者数

区 分	研修室	会議室	職業講習室	教養文化室	体育室	トレーニング室	計
利用件数	件 420	件 109	件 543	件 253	件 812	件 20,156	件 22,293
利用者数	人 4,901	人 2,219	人 16,118	人 4,537	人 18,866	人 20,156	人 66,797

イ 利用料収入

区 分	施設利用料	設備器具 利用料	冷暖房設備 利用料	計
26. 4～27. 3	13,324,035 円	521,860 円	344,450 円	14,190,345 円

ウ 自主事業

区 分	講座の種類と講座数	講座回数	延べ受講者数
趣 味 づ く り	9 種 11 講座	318 回	8,479 人
健 康 づ く り	7 種 11 講座	414 回	9,567 人
計	16 種 22 講座	732 回	18,046 人

○ 工事関係

施設整備工事を行い、施設環境の向上を図った。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
八日市場町地内	(注) サンライフ伊勢 便所改修工事	1 階便所 和風大便器撤去処分 2 か所 2 階便所 和風大便器撤去処分 2 か所 1 階便所 洋風大便器設置 2 か所 2 階便所 洋風大便器設置 2 か所 1 階・2 階便所 ウォシュレット設置 5 か所	円 2,728,080	26. 7. 25	26. 9. 22
〃	サンライフ伊勢 外壁防水工事	外壁防水 110.5 m ²	1,405,080	26. 11. 4	26. 12. 12
〃	サンライフ伊勢 教養文化室空調 機取替工事	教養文化室空調機取替 AC-1 (天カ形 4 方向シングル) 1 組 AC-2 (天カ形 4 方向シングル) 1 組	1,285,200	27. 1. 6	27. 2. 4
計	3 件	—	5,418,360	—	—

(注) 建築住宅課施行

(2) 労働福祉会館管理運営事業

労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、会議室の貸室、維持管理を行った。

○伊勢市労働福祉会館運営委員会

平成 27 年 2 月 20 日 平成 25 年度及び平成 26 年度の利用状況について

・組 織

委 員 長 副市長

副委員長 産業観光部長

委 員 労働者を代表する者 4 人

公益を代表する者 4 人

市職員を代表する者 2 人

○ 運営状況

ア 使用件数及び使用者数

区 分	大会議室	第 1 会議室	第 2 会議室	第 3 会議室	第 4 会議室	計
使用件数	件 96	件 241	件 126	件 24	件 78	件 565
使用者数	人 5,668	人 4,518	人 1,522	人 286	人 1,022	人 13,016

イ 使用料収入

区 分	施設使用料	設備器具 使用料	冷暖房設備 使用料	計
26. 4～27. 3	1,121,396 円	43,440 円	268,470 円	1,433,306 円

(3) 労働福祉会館整備事業

施設整備工事を行い、施設環境の向上を図った。

○ 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
勢 田 町 地 内	(注) 労働福祉会館空調 設備改修工事	空調機取替 AC-1(天井カセット型同時トリプル) 8馬力(1組)	円 5,551,200	26. 5. 23	26. 7. 18
		AC-2(天井カセット型シングル) 3馬力(1組)			
		AC-3(天井カセット型同時ツイン) 5馬力(3組)			
〃	(注) 労働福祉会館防水 改修工事	防水改修工事 ウレタン塗膜防水 X-1 216 m ² ウレタン塗膜防水 X-2 80 m ² ドレン改修 6 か所	4,450,680	26. 7. 4	26. 9. 1
計	2 件	—	10,001,880	—	—

(注) 建築住宅課施行

5 融資対策事業

(1) 勤労者持家促進資金貸付金

市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が、市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子を軽減することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。

利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。

なお、協調融資期間は10年間である。

新規融資件数	新規融資額	預託金額	協調残高(平成27年3月)
0 件	0 円	2,290,000 円	2,234,810 円

※市からの預託金額は、年度末に同額が東海労働金庫より返還された。

○ 産業支援関係

1 企業立地推進事業

(1) 企業訪問の実施

企業訪問による企業誘致活動、工場新設及び増設計画の情報収集を実施した。また、市内企業の市外流出抑制のための営業活動を実施するとともに、市外企業については関係機関等とも連携し企業訪問を実施した。

訪問地域	訪問件数	備考
県外	61 件	(首都圏 19 件、関西圏 37 件、中京圏 4 件、その他 1 件)
県内 (市内除く)	8	—
市内	74	—
計	143	—

(2) 伊勢志摩地域産業活性化協議会

- ・構成自治体 伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・南伊勢町・三重県
- ・目的 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律（企業立地促進法）に基づき、産業集積の形成又は産業集積の活性化に関する基本的な計画の策定及びその実施に関し必要な事項、その他地域における産業集積の形成又は産業集積の活性化に関し必要な事項について協議を行うことにより、当該地域における産業集積の形成及び産業集積の活性化のために当該地域の地方公共団体等が行う主体的かつ計画的な取組に寄与することを目的とする。
- ・負担金 1,317,070 円

① 伊勢志摩地域企業連携セミナーin 関西の開催

伊勢志摩地域への企業立地に繋げるため、関西圏の企業関係者と一堂に会して情報発信を行い、交流を深めることを目的に開催した。

開催日時：平成 27 年 2 月 3 日（火）15：00～19：00

開催場所：帝国ホテル大阪 大阪市北区天満橋 1-8-50

出席者：139 人（関西の製造業を中心とした企業経営者及び役員、金融機関、ゼネコン、経済界で活躍されている地元出身者など。）

内容：受付 14：30～

第 1 部 企業立地セミナー 15：00～17：05

- ・主催者挨拶及び伊勢志摩地域の紹介
- ・記念講演会

講師：建築家・東京大学名誉教授 安藤忠雄 氏

第2部 交流会 17:20～19:00

- ・6市町の首長と県副知事が地域についてプレゼン
- ・出席者との交流、情報交換
- ・伊勢志摩地域の食材による料理を提供

② 基本計画の更新

伊勢志摩地域産業活性化協議会で協議を重ね、平成26年度末で計画期間を終える基本計画の更新を行った。

③ 人材育成事業の実施

協議会の事業として人材育成セミナーを2回開催した。

会場	年月日	参加人数	内容
志摩会場 (志摩市商工会館)	26. 11. 6	19名	WebやSNSを活用し、ネット時代の営業アプローチからクロージングフォローについて、事例を交えた実践的な技能を修得する。
伊勢会場 (伊勢市産業支援センター)	27. 2. 20	11名	経営者及び企業の人材育成者を対象として、優秀な人材の採用から育成、働きやすい職場づくりなど、社員を伸ばし企業を育てる講習。

(3) 企業誘致の実績

サン・サポート・スクエア伊勢へ2社の企業誘致を行った。

企業名	業種	用地譲渡面積	用地譲渡価格	新規雇用予定数	契約日
(株)トラスト電器	電気機械器具製造業	m ² 3,000.74	円 43,810,000	人 6	26. 8. 28
(株)ふじよし	その他の製造業	3,988.68	57,796,000	5	26. 9. 26
計		6,989.42	101,606,000	11	—

全体面積 80,718.54 m²、立地決定済面積 69,876.08 m² (86.6%)

(4) 企業立地用地の整備工事

サン・サポート・スクエア伊勢について、2号広場の移設と、来訪者に不便をかけないように立地企業や分譲中区画の位置を示した案内看板を設置した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町内 地内	(注) サン・サポート・スクエア伊勢2号広場移設工事	境界ブロック設置 L=71.5m 緑地部整地工 A=300 m ²	円 1,188,000	26. 6. 24	26. 8. 18
〃	(注) サン・サポート・スクエア伊勢案内看板設置工事	案内看板設置 一式	1,274,400	26. 12. 25	27. 3. 10
計	2件	—	2,462,400	—	—

(注) 農林水産課施行

2 工場等誘致奨励事業

(1) 企業立地用地ならびに各種奨励制度の周知

市内への工場等の誘致・誘導について、より一層推進するため、伊勢市ホームページ等による工業団地や各種奨励制度の周知に努めた。

(2) 工場等誘致奨励金の交付

本市における産業の振興及び雇用の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、伊勢市工場等立地促進条例に基づき奨励金を交付した。

事業者名	交付決定額	概要
(株) ゴーリキアイランド	円 22,293,000	用地取得奨励金
ティアンドティ (株)	13,971,600	用地取得奨励金
キクカワエンタープライズ (株)	2,200,000	雇用奨励金
キクカワエンタープライズ (株)	4,801,900	設備投資奨励金
計	43,266,500	4 件

3 企業立地推進一般経費

(1) 企業立地・産業支援研修会への参加

地域活性化につながる企業立地を一層推進するため、研修会に参加し職員の資質を高め、情報収集に努めた。

年月日	研修会名称	開催場所	主催者及び内容
26. 7. 30 ~ 26. 8. 1 (3 日間)	企業立地促進法実務担当者 研修	東京都	経済産業省主催 企業立地促進法の理解、補助金、税 等の支援制度等の情報を得て、立地 政策に関する見識を深めた。
26. 11. 18 ~ 26. 11. 19 (2 日間)	第 120 回産業立地研修会	東京都	(一財) 日本立地センター主催 最新の立地動向、他市の取り組み等 の情報を得て、企業立地に関する見 識を深めた。

(2) 企業立地用地の分筆及び鑑定評価

サン・サポート・スクエア伊勢について、分譲のための区画変更に伴う分筆及び土地評価額意見書の作成を依頼した。

(3) 企業立地用地の維持管理

サン・サポート・スクエア伊勢について、企業進出に伴いLED外灯（電柱共架）を2か所設置したほか、市有地の草刈を行い適切な維持管理に努めた。

また、神菌工業団地において草刈を行い用地の適切な維持管理に努めた。

農 林 水 産 課

○ 農業振興関係

1 伊勢地域農業共済事務組合事業

農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成 7 市町で負担した。

伊勢市負担分 36,803,000 円

構成 7 市町 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

2 農業経営基盤強化促進事業

(1) 「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。

認定農業者件数 128 件（平成 27 年 3 月末現在）

平成 26 年度新規認定 4 件

(2) 効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等への農地の利用集積を進めた。

○農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	面 積 (ha)
利用権設定（累積）	496.6
26.4～27.3 実績	
設 定	91.9
中途解約・期限切れ	76.5
所有権移転	0.1

3 利子補給補助事業

効率的かつ安定的な農業経営を目指す認定農業者を支援するため、経営改善のための農業近代化資金等の借入れに際し、発生する利子の一部を助成した。

資金名		対象件数	利子補給額	備考
農業近代化資金	上半期	84 件	211,397 円	市単独事業
	下半期	85	216,240	
農業経営基盤強化資金（スーパー L 資金）		5	229,487	うち県補助金 112,757 円
計		174	657,124	

4 遊休農地活用事業

農村環境や農業経営の現場で様々な問題を引き起こす遊休農地の解消を図るため、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、遊休農地を営農可能な状態に回復するための支援を行った。

交付単価 補助対象経費の2分の1以内の額

ただし、50,000円/10aを上限に必要経費を助成する

事業費 104,970円（市単独事業）

5 新規就農者総合支援事業費補助金

新規就農するにあたって所得の確保が課題となっていることから、経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する給付金を給付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。

給付額 22,500,000円（1,500,000円×対象者9名分＋前倒補正分（1,500,000円×対象者4名分＋750,000円（半期分）×対象者4名分））

6 被災農業者向け経営体育成支援事業

平成26年2月14日の大雪により倒壊した農業用パイプ（ビニール）ハウスの再建や、撤去にかかる経費を支援し、農業の担い手に対し、経営再建の推進を図った。

補助対象者 39経営体

事業費 79,764,200円

補助額 67,120,828円（国34,696,864円、県16,211,982円、市16,211,982円）

7 経営体育成支援事業

中心経営体等が、経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の経営の多角化等に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入等について支援することで中心経営体等の育成・確保を図った。

事業主体 有限会社 松幸農産

事業費 10,190,610円

補助額 2,829,000円

8 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：平成26年度除外予定分

利用計画変更分	件数	面積
農用地除外	24件	70,013 m ²
農用地編入	12	61,530
用途変更	5	1,930

事業費 182,280円（市単独事業）

9 農業振興事業

農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。

(1) 蓮台寺柿保存育成事業補助金

350年の歴史をもち、市の天然記念物である蓮台寺柿の宅地開発等による減産傾向に歯止めをかけ、地域の特産物として保存育成するため、苗木育成、共同防除その他の事業を支援することで、栽培農家の振興と経営の安定を図った。

事業主体 蓮台寺柿保存育成研究会

事業費 158,710 円

補助額 28,567 円

(2) 三重県伊勢志摩指導農業士会活動助成金

地域農業のリーダーである指導農業士会が行う農業後継者育成の活動及び地域農業の振興に資する活動に対し、助成金を交付し支援を行った。

交付先 伊勢志摩指導農業士会

補助額 120,000 円 (20,000 円/1名×市内在住6名分)

(3) 三重県伊勢志摩青年農業士会活動助成金

地域農業の担い手である青年農業士会が行う農業技術向上のための研修交流及び地域農業の振興に資する活動に対し、助成金を交付し支援を行った。

交付先 伊勢志摩青年農業士会

補助額 40,000 円 (10,000 円/1名×市内在住4名分)

(4) 農業振興補助金

農業の持続的発展及び農村の振興に資する農業者等の行う事業に対して補助金を交付し、支援を行った。

交付先	補助内容	事業費 (円)	補助額 (円)
トラストファーム小俣	堆肥舎の増築	9,450,000	2,835,000

10 生産調整推進対策事業

米穀の需給と価格の安定を図るため、伊勢市農業再生協議会を主体とした地域農業者・農業団体が主体的に取り組む米の需給調整を推進・支援した。

生産調整推進対策の実績

	24年産	25年産	26年産
水稻作付面積目標	1,678 ha	1,680 ha	1,682 ha
作付段階における 主食用作付面積	1,658	1,615	1,580

11 経営所得安定対策推進事業

意欲ある農業者が需要のある作物を生産することに対して交付金を交付することにより、農業経営の安定や農地の有効利用を図った。

事業費 6,900,000 円 (全額国補助金)

12 6次産業化推進事業

6次産業化という新しい農林水産業経営の考え方を地域の農林漁業者等に周知・定着化を図り、経営向上に向けた6次産業化への取り組みの推進を図った。

6次産業化講習会の開催(平成27年2月24日)

6次産業化先進地視察(平成27年1月14日)

伊勢地域農業・農村振興協議会研修会の参加(平成27年1月16日)

6次産業化セミナー職員派遣(平成27年2月23日)

事業費 102,126 円(市単独事業)

13 地産地消推進事業

(1)伊勢市地産地消の店認定制度

平成19年12月に創設した「伊勢市地産地消の店認定制度」に基づき、市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。

平成26年7月認定店 7店舗(内訳:飲食店5、小売店2)

※累積:64店舗(内訳:飲食店43、宿泊施設2、小売店8、直売所5、量販店6)

事業費 167,288 円(市単独事業)

(2)伊勢市農産物等消費推進事業補助金

地域農業における農村コミュニティの再構築や地域農業の維持発展を目的に、地域で採れた農産物などを地域で消費する「地産地消」活動である農産物直売所事業に対して消耗品や資材面で支援を行った。(市単独事業)

交付先	事業費 (円)	補助額 (円)
佐八野菜グループ	40,477	40,477
伊勢市産直部会	51,840	50,000
まぜ楽市	50,032	50,000
ハノカの里	47,109	47,109
計	189,458	187,586

14 特色ある農産物づくり支援事業

有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。

事業主体 横輪町活性化委員会

事業内容 横輪町活性化委員会生産者部会が生産した「横輪いも」とその種芋を保存する倉庫等を整備し、保管状態及び販売する際の作業効率の改善を図った。

事業費 279,062 円

補助額 139,531 円（市単独事業）

15 農業体験学習事業

食育推進の一環として、農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食をはぐくむ産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。

事業費 646,786 円（市単独事業）

実 施 日	対 象	内 容	備 考
26. 5. 13	東大淀小 5 年生（20 人）	水稻（田植え：東大淀町地内）	
〃	修道小 5 年生（59 人）	水稻（田植え：村松町地内）	
〃	宮山小 5 年生（48 人）	水稻（田植え：村松町地内）	
〃	進修小 5 年生（33 人）	水稻（田植え：村松町地内）	
26. 5. 15	有緝小 5 年生（100 人）	水稻（田植え：小俣町地内）	
〃	小俣小 5 年生（113 人）	水稻（田植え：小俣町地内）	
26. 9. 16	東大淀小 5 年生（20 人）	水稻（稲刈り：東大淀町地内）	
〃	大湊小 5 年生（32 人）	水稻（稲刈り：村松町地内）	
〃	修道小 5 年生（60 人）	水稻（稲刈り：村松町地内）	
〃	宮山小 5 年生（48 人）	水稻（稲刈り：村松町地内）	
〃	進修小 5 年生（33 人）	水稻（稲刈り：村松町地内）	
26. 9. 18	有緝小 5 年生（100 人）	水稻（稲刈り：小俣町地内）	
〃	小俣小 5 年生（112 人）	水稻（稲刈り：小俣町地内）	
26. 11. 7	佐八小 3 年生（13 人）	蓮台寺柿収穫体験・柿選果場見学 （収穫等：勢田町）	

○ 施設管理関係

1 農業用施設維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕・浚渫工事や草刈等の業務委託、重機借上・原材料支給を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

ア 委託関係

施行場所	業 務 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
神 社 港 地 内	(注) 馬瀬ポンプ場堆積物 回収運搬業務委託	巡視 31 回 堆積物回収運搬 25 回	円 268,920	26. 4. 1	27. 3. 31
栗 野 町 地 内	菱川除草業務委託	草刈り 一式	62,814	26. 6. 27	26. 7. 31
計	2 件	—	331,734	—	—

(注)維持課へ執行委任

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
上 野 町 地 内	農道法面修繕工事	農道修繕 30.0m	円 280,800	26. 4. 7	26. 4. 18
御 菌 町 高 向 地 内	農道舗装補修工事	舗装修繕 140.0m	238,140	26. 6. 20	26. 7. 4
中 須 町 地 内	菱川法面修繕工事	排水路法面修繕 13.5m	245,160	26. 7. 4	26. 8. 1
佐 八 町 地 内	農業用排水路法面修繕 工事	排水路法面修繕 一式	432,000	26. 9. 1	26. 9. 17
上 野 町 地 内	農業用排水路修繕工事	排水路修繕 一式	145,800	26. 10. 27	26. 12. 19
円 座 町 地 内	農業用排水路法面修繕 (その2) 工事	排水路法面修繕 一式	309,960	26. 10. 27	26. 11. 17
佐 八 町 地 内	農業用排水路法面修繕 (その3) 工事	排水路修繕 一式	464,400	26. 10. 27	26. 11. 17
〃	農業用排水路修繕(その 2) 工事	排水路修繕 一式	99,360	26. 10. 27	26. 11. 27
小 木 町 地 内	農業用排水路修繕(その 3) 工事	排水路修繕 一式	77,760	26. 11. 25	26. 12. 12
村 松 町 地 内	農業用排水路修繕(その 4) 工事	排水路修繕 一式	59,400	26. 12. 3	26. 12. 12
津 村 町 地 内 ほか	農業用排水路法面修繕 (その4) 工事	排水路法面修繕 一式	97,200	27. 1. 15	27. 1. 19
小 木 町 地 内	農業用排水路蓋設置工 事	排水路蓋設置 36 枚	396,360	27. 2. 16	27. 3. 25
鹿 海 町 地 内	農業用排水路修繕(その 5) 工事	排水路修繕 一式	32,400	27. 2. 18	27. 2. 27
〃	農業用排水路浚渫工事	排水路浚渫 一式	97,200	27. 3. 2	27. 3. 10
御 菌 町 新 開 地 内	農業用排水路修繕(その 6) 工事	排水路修繕 一式	64,800	27. 3. 27	27. 3. 31
計	15 件	—	3,040,740	—	—

ウ 重機借上・原材料支給

	施 行 場 所	金 額
重 機 借 上	小俣町宮前地内 ほか 11 件	円 2,245,212
原 材 料 支 給	鹿海町地内 ほか 7 件	1,137,584
計	—	3,382,796

2 多面的機能支払交付金事業

(1) 農地維持支払

農業者等による組織が取り組む、水路の泥上げや農道の路面維持等の地域資源の基礎的保全活動や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化等、多面的機能を支える共同活動に対する支援、推進を行った。

実施地区 25 組織(一色、西豊浜森区、有滝、村松、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、二見町西、西豊浜上区、東大淀、黒瀬、西豊浜町小川区、田尻町)

実施面積 1,650.99 ha

支援金総額 48,093,840 円(伊勢市負担分 12,023,460 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

(2) 資源向上支払(地域資源の質的向上を図る共同活動)

地域住民を含む組織が取り組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等の農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動に対し支援を行った。支援対象については、25 組織のうち地域住民を含む組織で形成されている 23 組織である。

実施地区 23 組織(一色、西豊浜森区、有滝、村松、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、西豊浜上区、東大淀、黒瀬、西豊浜町小川区)

実施面積 1,610.39ha

支援金総額 28,219,260 円(伊勢市負担分 7,054,815 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

(3) 資源向上支払(施設の長寿命化のための活動)

地域住民を含む組織が取り組む、施設の長寿命化のための活動に対し支援を行った。市園大将については、25 組織のうち施設の老朽化が進んでいる 17 組織である。

実施地区 17 組織(一色、村松、柏、上地、栗野、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、中須、馬瀬、小俣、磯、西豊浜上区、東大淀、黒瀬)

実施面積 1,350.58ha

支援金総額 56,349,680 円(伊勢市負担分 14,087,420 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

3 二見しょうぶロマンの森維持管理

(1) 施設管理

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(「民話の駅蘇民」、「しょうぶ園」)につい

て、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、農村地域資源を活用し、地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設
- ・指定管理者 一般社団法人 民話の駅 蘇民
- ・指定管理委託期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 4,950,000 円
- ・施設利用状況等

期 間	開館日数	来客人数
平成 26 年 4 月	30 日	10,922 人
平成 26 年 5 月	31	13,228
平成 26 年 6 月	30	14,999
平成 26 年 7 月	31	13,151
平成 26 年 8 月	28	11,098
平成 26 年 9 月	30	11,634
平成 26 年 10 月	30	9,912
平成 26 年 11 月	30	10,872
平成 26 年 12 月	31	12,077
平成 27 年 1 月	28	8,587
平成 27 年 2 月	28	10,104
平成 27 年 3 月	31	11,866
計	358	138,450

4 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

(1) 施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・指定管理委託期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 2,451,000 円
- ・施設利用状況等

期 間	開館日数	来客人数
平成 26 年 4 月	27 日	5,776 人
平成 26 年 5 月	23	651
平成 26 年 6 月	21	1,086

平成 26 年 7 月	日	人
	23	520
平成 26 年 8 月	23	729
平成 26 年 9 月	22	668
平成 26 年 10 月	22	458
平成 26 年 11 月	24	959
平成 26 年 12 月	21	619
平成 27 年 1 月	20	384
平成 27 年 2 月	20	463
平成 27 年 3 月	23	759
計	269	13,072

5 サンファームおばた維持管理

経営構造対策事業によって整備した産直施設であるサンファームおばたの管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。

(1) 市有建物の貸付

所在地	構 造	建物面積	貸付先	貸付料 (年額)	用途	期 間
小俣町湯田 55 番地	鉄骨造折板葺 平屋建	m ² 429.12	有限会社 サンファーム おばた	円 629,400	農産物販売 (産直市)	自 26. 4. 1 至 27. 3. 31

6 伊勢市二見健康管理増進センター維持管理

(1) 施設管理

漁村環境整備事業で整備した伊勢市二見健康管理増進センターについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民の生活及び健康管理の向上と明るく豊かな地域づくりの増進を図った。

- ・施設名 伊勢市二見健康管理増進センター
- ・指定管理者 二見町松下区 区長
- ・指定管理委託期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 178,970 円
- ・施設利用状況等 年間利用回数 121 回
年間利用人数 1,337 人（延べ人数）

(2) 委託関係

施行場所	業 務 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
二 見 町 松 下 地 内	二見健康管理増進セ ンター施設調査業務 委託	施設調査業務 一式	円 36,720	26. 8. 22	26. 8. 22

7 樋門の維持管理

流域への湛水、洪水による被害を未然に防止するため、地元自治会等へ管理を委託し、樋門の

機能保持及び安全管理を図った。

(1) 県所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
東伊阿良	有 滝 町	有 滝 町 会 長	円 20,600
江 川	〃	〃	24,700
社護神	〃	〃	16,500
土路西条 4 号	西 豊 浜 町	上 区 自 治 会 区 長	16,500
土路西条 5 号	磯 町	磯 町 自 治 会 区 長	16,500
矢 田 川	楠 部 町	楠 部 町 自 治 会 長	20,600
津 村	津 村 町	津 村 町 区 長	16,500
宮 沼	〃	〃	20,600
名 古 新 田	二見町山田原	二 見 町 三 津 区 長	20,600
計	9 樋門	—	173,100

(2) 市所管樋門操作業務委託

樋 門 名	所在地	委託先	管理委託料
満 城	磯 町	磯 町 自 治 会 区 長	円 20,600
磯	〃	〃	16,500
相 合 端	〃	〃	16,500
堀 の 内	西 豊 浜 町	森 区 自 治 会 区 長	16,500
中 島	〃	小 川 区 農 事 部 長	16,500
郷 垣 外	東 豊 浜 町	〃	14,450
中 坪 井	西 豊 浜 町	〃	16,500
下 坪 井	東 豊 浜 町	東豊浜町西条自治会長	16,500
浜	〃	〃	16,500
西 浦	〃	〃	16,500
西条第一	〃	〃	16,500
浦 ノ 山	東 豊 浜 町	土 路 区 町 会 長	16,500
墓 ノ 浦	〃	〃	20,600
里 浦	〃	〃	16,500
一 本 松	檜 原 町	檜 原 町 会 自 治 会 長	16,500
枯 木 州	〃	〃	16,500
地 蔵 池	村 松 町	有 滝 町 会 長	14,450

南 挟 間	村 松 町	有 滝 町 会 長	円 14,450
西 の 小 端 第 一	〃	〃	14,450
イ ナ 川	有 滝 町	〃	16,500
西 曾	〃	豊浜土地改良区理事長	17,600
亀 池	村 松 町	村 松 町 会 長	24,700
旧 汐 田	東 大 淀 町	東 大 淀 町 会 長	17,600
明 野	〃	〃	15,000
東 勘 坊	柏 町	柏 町 会 長	17,600
大 切 戸	一 色 町	一 色 町 自 治 会 区 長	20,600
戸 部 神	〃	〃	16,500
中 渠	楠 部 町	楠 部 町 自 治 会 長	17,600
小 畑	中 村 町	中村土地改良区理事長	15,000
八 郎 兵 衛	鹿 海 町	鹿 海 町 自 治 会 長	20,600
西 新 田	〃	〃	16,500
西 沖	朝 熊 町	朝 熊 町 自 治 会 長	16,500
保 田	〃	〃	16,500
立 岩	〃	〃	14,600
貝 楠 部	〃	〃	16,500
亀 ケ 森	〃	〃	14,600
橘 第 二	〃	〃	14,600
橘	〃	〃	16,500
浜 田	〃	〃	16,500
子 良 江 古	〃	〃	16,500
雨 渕 川	上 野 町	上 野 町 区 長	16,500
西	二 見 町 西	二 見 町 西 区 長	14,450
計	42 樋門	一	703,050

(3)樋門修繕（工事関係）

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
東 豊 浜 町 地 内	西条第二樋門補修工 事	樋門修繕 一式	円 68,256	26. 4. 24	26. 5. 13
一 色 町 地 内	大切戸樋門漏水修繕	樋門修繕 一式	99,360	26. 9. 1	26. 9. 11
鹿 海 町 地 内	鹿海町排水機場樋門 修繕工事	樋門修繕 一式	71,280	26. 10. 1	26. 11. 10
東 豊 浜 町 地 内	豊北漁港西条第1 樋 門修繕工事	樋門修繕 一式	1,220,400	27. 1. 23	27. 3. 13
二 見 町 江 地 内	二見町江樋門修繕工 事	樋門修繕 一式	492,480	27. 2. 17	27. 3. 24
計	5 件	—	1,951,776	—	—

8 陸こう門の管理

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に設置した陸こうの維持管理及び操作を次のとおり委託した。

(1)県所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所 在 地	委 託 先	委 託 料
東大淀第1・2 陸こう門	東 大 淀 町	東 大 淀 町 会 長	円 11,000

(2)市所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所 在 地	委 託 先	委 託 料
西 条 第 1 ～ 6 陸 ough 門	東 豊 浜 町	東豊浜町西条自治会長	円 33,000
村 松 第 1 ～ 8 陸 ough 門	村 松 町	村 松 町 会 長	44,000
有 滝 第 1 ～ 6 陸 ough 門	有 滝 町	有 滝 町 会 長	33,000
土 路 第 1 ～ 5 陸 ough 門	東 豊 浜 町	土 路 区 町 会 長	27,500
計	4 件	—	137,500

9 排水機場維持管理

(1)農業用としてだけでなく、集落地域の雨水排水にも稼働している公共性の高い排水機場について維持管理委託、または電気代等の維持管理費を補助することにより、土地改良区等の負担軽減を図り、農業基盤の保全と農村地域の環境整備を図った。

ア 委託関係

排水機場名	所在地	委託先	委託料
野口排水機場	東大淀町	東大淀土地改良区	円 50,000

イ 補助金

排水機場名	交付先	市補助額
村松排水機場	村松土地改良区	円 1,134,810
野口排水機場ほか	東大淀土地改良区	82,080
有滝第2排水機場	伊勢北部土地改良区	718,006
社護神排水機場	有滝土地改良区	332,526
豊浜第2排水機場	豊浜土地改良区	21,897
計	5件	2,289,319

ウ 小修繕関係（委託）

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
竹ヶ鼻町 地内	船倉排水機場調査業務委託	排水機場調査一式	円 98,280	26. 9. 22	26. 10. 1

エ 小修繕関係（工事）

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町 地内	村松排水機場除塵機 コンテナ改修工事	コンテナ改修一式	円 42,120	26. 5. 15	26. 5. 22
二見町三津 地内	三津ポンプ場操作盤 修繕工事	操作盤修繕一式	270,000	26. 5. 21	26. 6. 6
〃	三津ポンプ場操作盤 修繕（その2）工事	操作盤修繕一式	464,400	26. 6. 2	26. 7. 4
〃	三津ポンプ場避雷器 修繕工事	避雷器修繕一式	75,600	26. 7. 29	26. 7. 31
竹ヶ鼻町 地内	船倉排水機場修繕工 事	排水機場修繕一式	99,684	26. 10. 1	26. 10. 10
計	5件	—	951,804	—	—

（2）湛水防除事業により整備された排水機場について、施設の適正な機能保全の確保と、排水機場の運転及び各施設と連動した運転を安全、円滑に運用していくため、段階的・年次的に整備計画を立案し、更新整備を行っていく必要があることから、今後の施設更新実施に向けた基礎データ資料として活用するため、排水機場台帳を作成した。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 内	排水機場台帳整備業務 委託	排水機場台帳 一式	円 496,800	27. 2. 9	27. 3. 30

○ 畜産関係

1 畜産飼養頭羽数

種 類	肉 用 牛			乳 牛			肉 豚			採 卵 鶏		
年 度	24	25	26	24	25	26	24	25	26	24	25	26
頭羽数 (頭羽)	550	322	535	7	7	7	600	570	592	26,300	23,800	23,000
戸 数 (戸)	6	6	6	1	1	1	1	1	1	5	5	5

2 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。

事 業 主 体 株式会社 三重県松阪食肉公社
補 助 金 3,386,000 円

○ 農業基盤整備関係

1 農道整備事業

農業用道路において、未舗装部分の改良及び老朽化した路線の改良をすることにより適切な維持管理を行い、農業用車両の安全な通行に努めた。また、農業用道路拡幅に伴う道路用地の寄付採納を受けた。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
東 豊 浜 町 地 内	(注) 東豊浜町農道舗装工事	m 191.0	円 2,479,680	26. 7. 25	26. 9. 22
一 色 町 地 内	(注) 一色町農道整備工事	210.4	40,915,800	26. 9. 12	27. 3. 13
中 須 町 地 内	(注) 中須町農道舗装工事	100.8	1,245,240	26. 9. 16	26. 11. 4
東 大 淀 町 地 内	(注) 東大淀町農道舗装工事	362.8	3,414,960	26. 10. 3	26. 12. 1

円座町内 地	(注) 円座町農道舗装工事	m 140.0	円 1,638,360	26.10.3	26.11.11
小俣町明野 地	(注) 小俣町明野農道舗装工事	169.6	1,705,320	26.10.10	26.11.28
田尻町内 地	田尻町農道整備工事	196.0	9,384,120	26.11.28	27.3.5
一之木4丁目 地内ほか	一之木4丁目農道ほか整備工事	110.0	36,737,280	26.12.5	27.3.13
柏町内 地	(注) 柏町農道舗装工事	238.2	3,393,360	26.12.5	27.2.20
有滝町内 地	(注) 有滝町農道整備工事	17.0	503,280	26.12.5	27.1.23
円座町内 地	(注) 円座町農道舗装(その2)工事	519.0	6,239,160	27.1.9	27.3.9
村松町内 地	(注) 村松町農道舗装工事	528.6	5,314,680	27.1.9	27.3.13
東大淀町内 地	(注) 東大淀町農道舗装(その2)工事	513.5	4,802,760	27.1.9	27.3.11
東豊浜町内 地	(注) 東豊浜町農道舗装(その2)工事	839.0	9,982,440	27.1.9	27.3.13
〃	(注) 東豊浜町農道舗装(その3)工事	675.0	8,280,360	27.1.23	27.3.13
一色町内 地	(注) 一色町農道整備工事に伴う舗装工事	213.0	1,356,480	27.1.30	27.3.20
御薊町長屋 地	(注) 御薊町長屋農道舗装工事	12.0	712,800	27.2.20	27.3.12
計	17件	—	138,106,080	—	—

(注) 平成25年度から繰越

イ 用地寄附採納関係

場所	地権者数	筆数	面積
田尻町内 地	人 13	筆 17	m ² 316

2 農業用排水路整備事業

農業用排水路において、老朽化した路線等を改良することにより、排水機能の回復と環境整備を行った。また、農業用排水路整備に伴う排水路用地の寄付採納を受けた。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
小俣町新村 地 内	(注) 小俣町新村排水路整備工事	m 81.0	円 4,449,600	26.10.10	26.12.19
二見町荘 地 内	(注) 二見町荘排水路整備工事	79.0	3,645,000	26.10.31	27. 1.16
鹿海町 地 内	(注) 鹿海町排水路整備工事	211.3	14,388,840	26.11.28	27. 3.19
二見町西 地 内	(注) 二見町西排水路整備工事	60.1	3,350,160	26.11.28	27. 1.26
上地町 地 内	(注) 上地町排水路整備工事	130.5	2,548,800	26.12. 5	27. 1.23
二見町西 地 内	(注) 二見町西排水路整備 (その 2) 工事	41.0	3,271,320	26.12.26	27. 2.20
通 町 地 内	(注) 通町排水路整備工事	305.0	3,098,520	27. 1.30	27. 3.20
	7 件	—	34,752,240	—	—

(注) 平成 25 年度から繰越

イ 用地寄附採納関係

場所	地権者数	筆 数	面積
二見町西 地 内	人 4	筆 6	m ² 89

3 給水栓整備事業

当該地区の農業用用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
西 豊 浜 町 地 内	給水栓設置工事	給水栓設置 85 か所	円 5,998,320	26.10.31	27. 1.26

4 土地改良事業補助

農業経営の安定に資するため、土地改良事業を補助し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を図った。

(1) 県営事業負担金

事業名	工事概要	事業費	市負担
平成 25 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区	水管橋設置工 一式 推進工 一式	円 499,000,000	(注 1) 円 74,850,000
平成 25 年度 経営体育成基盤整備事業 有田地区	幹線用水路 97m 支線用水路 9,837m 水管理システム 一式	390,000,000	(注 1) 8,921,728
平成 25 年度 経営体育成基盤整備事業 小俣地区	支線用水路 9,080m	370,000,000	(注 1) 12,855,440
平成 26 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区	水管橋設置工 一式 推進工 一式	273,776,000	(注 2) 40,966,395
平成 26 年度 高度水利機能確保基盤整備事業 宮川左岸地区	測量設計 一式	33,000,000	(注 2) 1,613,040
平成 26 年度 農業用施設アスベスト対策事業 城田・下外城田地区	測量設計 一式	50,000,000	(注 2) 1,012,632
平成 26 年度 高度水利機能確保基盤整備事業 有田地区	水管理システム 一式 揚水機 1 基	97,000,000	1,291,427
平成 26 年度 高度水利機能確保基盤整備事業 小俣地区	支線用水路 907m	50,000,000	(注 2) 5,846,667
計	8 件	1,762,776,000	147,357,329

(注 1) 平成 25 年度から一部繰越

(注 2) 平成 27 年度へ一部繰越

(2) 補助金

補助金支出先	施行年度	事業名	事業概要	市補助額
宮川用水 土地改良区	平成 26	土地改良施設維持管理適正化事業(35 期生)	揚水機場整備補修工事	円 600,000
〃	平成 26	土地改良施設維持管理適正化事業(37 期生)	揚水機場整備補修工事	1,200,000
〃	平成 26	県単基幹水利施設緊急調査・補修事業 富岡地区	揚水機場補修工事	367,200

宮川用水 土地改良区	平成 26	県単基幹水利施設緊急調査・ 補修事業 城田地区	用水路補修工事	円 687,500
伊勢北部 土地改良区	平成 6～ 15	県営ほ場整備事業（伊勢北部 地区）	区画整理工事	(注) 12,820,782
豊浜 土地改良区	平成 5～ 11	団体営土地改良総合整備事業 （豊浜・森・小川地区）	用水施設整備他	(注) 22,369,423
〃	平成 13～ 15	基盤整備促進事業（大方後地 区）	用水路工事他	(注) 886,730
五十鈴川用水 土地改良区	平成 26	県営かんがい排水事業（鹿海、 一色地区）	木出頭首工維持 管理事業	378,384
宮川左岸第二 土地改良区	平成 26	土地改良施設維持管理適正化 事業	用水管修繕工事	80,000
〃	平成 26	土地改良施設維持管理適正化 事業	用水路整備補修 工事	121,000
村松 土地改良区	平成 26	農業用排水路整備工事	排水路整備工事	1,502,000
小俣町 土地改良区	平成 26	宮川用水用水管布設工事ほか	管水路工事	145,216
〃	平成 26	小俣町農道舗装工事	農道舗装工事	270,000
佐八町自治会	平成 26	ため池補修工事	ため池補修工事	194,400
計	14件	—	—	41,622,635

(注) 市補助額欄の(注)印は、償還金に対する補助金額

5 技術援助事業

土地改良区が実施する改良工事等について、設計・監督等の技術援助を行い、土地改良区の負担軽減を図った。

事業主体	工事名
村松土地改良区	農業用排水路整備工事

○ 林業関係

1 林道修繕事業

雨水等により道路法面が崩れ、通行に支障をきたしているため、必要な工事を施し、林道の機

能回復を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
朝 熊 町 地 内	茅堂林道土砂撤去工事	土砂撤去 一式	円 88,560	26. 5. 22	26. 5. 28
横 輪 町 地 内	ホラ林道法面修繕工事	道路修繕 一式	529,200	27. 2. 12	27. 3. 25
上 野 町 地 内 ほか	倉ヶ谷林道土砂撤去工事	土砂撤去 一式	810,000	27. 2. 16	27. 3. 20
計	3 件	—	1,427,760	—	—

2 環境保全林管理事業

(1)市民の憩いの場である三郷山、音無山生活環境保全林及び横輪環境保全林において、清掃、草刈、修繕工事等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
浦 口 町 地 内 ほか	三郷山清掃業務委託	清掃 年 16 回	円 300,000	26. 4. 1	27. 3. 20
二見町茶屋 地 内 ほか	音無山管理業務委託	管理業務 一式	510,523	26. 4. 1	27. 3. 30
横 輪 町 地 内	宮山管理業務委託	管理業務 一式	300,000	26. 4. 17	27. 3. 27
〃	横輪環境保全林管理業務委託	管理業務 15,600 m ²	1,200,000	26. 4. 17	27. 3. 20
浦 口 町 地 内 ほか	三郷山草刈等 (その 1) 業務委託	草刈りほか 24,700 m ²	810,000	26. 5. 23	26. 7. 31
浦 口 町 地 内	三郷山給水施設衛生管理 業務委託	給水施設 清掃・点検一式	29,970	26. 6. 27	26. 7. 14
浦 口 町 地 内 ほか	三郷山草刈等 (その 2) 業務委託	草刈り 18,400 m ²	488,160	26. 10. 8	26. 11. 28
二 俣 町 地 内	三郷山間伐業務委託	間伐業務 0.3ha	475,200	26. 12. 18	27. 3. 4
横 輪 町 地 内	横輪環境保全林間伐業務委託	間伐業務 1.1ha	486,000	26. 12. 18	27. 3. 20
計	9 件	—	4,599,853	—	—

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町茶屋 地内ほか	音無山消火器取替工事	消火器取替ほか 一式	円 69,768	26.10.10	26.11.6
〃	音無山照明修繕工事	照明修繕 一式	64,800	26.12.22	26.12.26
朝熊町 地内	絆の森修繕工事	手摺杭修繕ほか 一式	194,400	27.1.28	27.2.26
計	3件	—	328,968	—	—

(2)横輪環境保全林の境界及び面積を明確にすることにより、市の財産を把握し更なる維持管理の向上を図るため、年次計画に基づき用地測量を行った。

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
横輪町 地内	横輪環境保全林用地測量 業務委託	用地測量 6.8ha	円 8,137,800	26.11.28	27.2.27

3 森林環境創造事業

音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託しているもので、本年度は3.93ha実施した。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
二見町江 地内ほか	音無山施設管理業務委託	下刈り 遊歩道草刈り 3.93ha	円 982,800	26.8.8	26.9.30

4 森林病虫害防除事業

海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
二見町西 地内ほか	松くい虫防除（地上散布） 業務委託	薬剤散布 6.3ha	円 577,800	26.5.28	26.7.11
村松町 地内ほか	村松松林ほか下刈業務委託	下刈り 15,000㎡	260,000	26.7.4	26.9.30
二見町西 地内ほか	二見保安林下刈業務委託	下刈り 3.2ha	1,353,240	26.7.9	26.9.5

〃	松くい虫防除（伐倒破碎） 業務委託	枯松伐倒駆除	円 1,458,000	26.12.25	27. 2.12
二見町茶屋 地内ほか	松くい虫防除（樹幹注入） 業務委託	薬剤樹幹注入	3,229,200	26.12.25	27. 2.27
二見町西 地内	危険木伐倒駆除業務委託	危険木伐倒駆除	86,400	27. 1.20	27. 2.12
計	6件	—	6,964,640	—	—

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町 今一色地内	二見松林整備工事	松林整備 800 m ²	円 1,252,800	26.10.10	26.11. 5

5 みえ森と緑の県民税市町交付金事業

みえ森と緑の県民税の活用として県産材を使用した東屋を整備し、木の薫る空間づくりを行った。また、交付金と事業費の差額については今後計画している大規模事業に活用するため、基金として積み立てた。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
楠部町 地内	倉田山公園東屋ほか 詳細設計業務委託	公園施設詳細設計一式	円 972,000	26. 7. 8	26. 9. 5

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
楠部町 地内	倉田山公園東屋ほか整備工事	東屋工 1基 透水性舗装工 40 m ² コンクリート系舗装工 61 m ² 柵工 56m 側溝工 8m 地被類植栽工 130 m ²	円 6,708,960	26.11.28	27. 3.13

ウ 基金

根拠法令	金額
伊勢森林づくり基金条例	1,524,040 円

6 獣害防止事業

(1) 有害鳥獣駆除

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行った。

件 数	延べ人員	総 捕 獲 数 (頭・羽)
48 件	299 人	イノシシ：334、シカ：252、サル：22、 イタチ(オス)：15、タヌキ：3、アライグマ：6

(2) 獣害防止事業委託

(1)のうち、伊勢市鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、狩猟期間外の捕獲を伊勢地区猟友会に委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減に努めた。

平成 26 年度捕獲実績 (頭)		
イノシシ：207	シカ：220	サル：21

事業費 1,433,000 円 (市単独事業)

(3) 伊勢市鳥獣被害防止対策協議会

増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、平成 20 年 11 月に設立された伊勢市鳥獣被害防止対策協議会において、関係機関と一体となって協議会一般事業、鳥獣被害防止総合対策事業、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業、地域捕獲力強化促進事業、「獣害対策に取り組む集落」育成支援事業に取り組んだ。

事 業 名	金 額 (円)	概 要
協議会一般事業	1,284,689	原材料支給、実施隊狩猟免許取得経費等
鳥獣被害防止総合対策整備事業	13,120,150	防護柵整備 6 地区 9.49 k m
鳥獣被害防止総合対策推進事業	3,876,017	大型捕獲檻 1 基、猿用箱わな 2 基、小動物用箱わな 3 台、サルモニタリング調査等
鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業	2,960,784	捕獲活動支援、防護柵整備 1 地区 530m
「獣害対策に取り組む集落」育成支援事業	801,036	追払い用煙火 2,000 本、専用ホルダー 30 本
地域捕獲力強化促進事業	217,123	捕獲檻用エサ等
計	22,259,799	

事業費 22,259,799 円 (県：19,263,934 円 市：2,995,865 円)

(4) 委託関係

集落への野生鳥獣の出現の減少を図るため、公益的機能が適正に発揮され、下草等の植生が豊かで野生鳥獣の生息しやすい森林づくりのため更新伐を行い、その後の植生の状況及び獣害被害状況の調査を行った。

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
横 輪 町 地 内	横輪環境保全林植生状況調査業務委託	状況調査 4 か所	64,800 円	26. 9. 1	26. 9. 19

7 鳥獣保護等事業

(1) 鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロの飼養許可事務を実施した。

交付件数 2 件（メジロ：更新 2 件）

手数料収入 6,800 円（手数料 1 件 3,400 円）

○ 水産振興関係

1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。

伊勢市の海面漁業形態は、主にアサリ採貝漁業、のり養殖業、小型機船底曳網漁業とし、その他には刺網漁業等が営まれている。

組合員数は下記のとおりで、生産状況は貝類（アサリ等）が 190 t、魚類等が 142 t、くろのりは 3,157 万枚となっている。

（1）組合員数

（単位：人）

区分	漁 協 名		平成 26 年度			平成 25 年度		
			正組合員	准組合員	計	正組合員	准組合員	計
海 面	伊勢湾漁業協同組合（伊勢市管内分）	東大淀	6	86	92	6	98	104
		村 松	20	85	105	25	84	109
		有 滝	16	93	109	17	97	114
		東豊浜	12	190	202	13	208	221
		大 湊	7	16	23	8	16	24
		一 色	4	46	50	4	48	52
		神 社	0	15	15	0	15	15
		今一色	53	23	76	58	19	77
		江	2	21	23	2	22	24
		松 下	6	52	58	6	55	61
		合 計	126	627	753	139	662	801
内水面	宮 川 漁 協		813	920	1733	845	999	1,844
	内伊勢市管内		221	157	378	231	177	408

（注）宮川漁協は各年度 12 月 31 日現在

（各年度 4 月 1 日現在）

（2）漁業生産状況

（単位：kg（くろのりは千枚））

種 類	平成 26 年度	平成 25 年度
魚 類	113,925	136,098
水産動物類	28,222	37,064
ア サ リ	175,936	573,085

その他の貝類	13,622	57,795
くろのり	31,566	22,476
あおのり	2,742	3,215

(3)漁船数

(単位: 隻)

地 区 名	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	計
東大淀	38	0	0	0	38
村 松	39	4	4	0	47
有 滝	42	1	11	0	54
東豊浜	53	6	5	0	64
大 湊	13	0	0	0	13
一 色	10	2	0	0	12
神 社	1	0	0	0	1
今一色	157	5	1	1	164
江	24	0	0	0	24
松 下	22	0	0	0	22
合 計	399	18	21	1	439

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

(4)漁業就業者の年齢構成

(単位: 人)

区 分	男	女	計
20 歳未満	0	0	0
20～30 未満	1	0	1
30～40 未満	3	0	3
40～50 未満	9	3	12
50～60 未満	25	18	43
60～70 未満	47	36	83
70 歳以上	109	70	179
計	194	127	321
平均年齢 (歳)	68.7	68.3	68.5

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

2 水産振興事業

(1)水産教室実施事業

水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立北浜小学校 5 年生 (27 名)、

市立佐八小学校５年生（１６名）、市立宮山小学校５年生（４６人）、有緝小学校５年生（１０１名）、二見小学校３年生（７７名）に対して、漁業に関する講習を行い、体験実習・施設見学をしてもらうことで、漁村・漁業への意識の高揚を図った。

実施場所	内 容	事業費	開催日
各 小 学 校 二見町今一色 地 内	○講習：「伊勢市の漁業の概要」「アサリと伊勢湾の環境」 ○講習：「伊勢市の漁業の概要」「のり養殖業」 ○体験実習：「のりすき体験」 ○施設見学：「のり加工施設」「のり検査倉庫」	円 195,549	26. 9. 11 27. 1. 22 27. 2. 9 27. 2. 19 27. 2. 23 27. 3. 2 27. 3. 5

（２）干潟保全活動支援事業

水生生物の産卵場、幼稚魚の保育場など水産資源の保護・培養のほか、水質浄化などの役割をもつ干潟は、近年、海洋環境の悪化などにより機能が低下しているため、地区漁業者が中心となる活動組織が干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。

なお、活動事業費は、水産庁の「水産多面的機能発揮対策事業」による地域協議会を通じて、取組みを支援した。

実施主体	実施場所	内 容	実施期間
伊勢干潟保全会	二 見 町 今 一 色 地 先 干 潟	計画づくり、モニタリング、保全活動 （耕うん、保護区域の設定、稚貝等の沈着促進、浮遊・堆積物の除去）	26. 5～27. 3
村松浅場保全会	村 松 町 地 先 干 潟	計画づくり、モニタリング、保全活動 （稚貝等の沈着促進、機能発揮のための生物移植）	26. 5～27. 3

（３）各種補助金事業

事 業 名	事業主体	事 業 量	事 業 費	市補助金	成 果
アサリ養殖振興事業	伊 勢 湾 漁 業 協 同 組 合	二見町今一色地先ほかにアサリ種苗、ハマグリ種苗を放流 放流量 アサリ 9 t	円 3,103,212	円 930,900	アサリ資源の増大と漁家経営の安定、アサリの浄化作用による環境保全を図った。
種苗（クルマエビ等）育成事業	伊 勢 湾 漁 業 協 同 組 合	クルマエビ 100 万尾 クロダイ 6,250 尾 ナマコ 6,800 尾 各種苗を松阪市黒部町地先～伊勢市二見町松下地先に放流	1,655,300	178,800	クルマエビ・クロダイ・ナマコの種苗を放流し、資源の増大と漁家経営の安定を図った。

稚鮎等放流事業	宮川漁業協同組合	アユ 4,000 kg ウナギ 92 kg アマゴ 100 kg 各種苗を宮川流域に放流	円 14,217,100	円 600,000	宮川流域のアユ・ウナギ・アマゴの資源の増大と生産の向上を図った。
漁業近代化資金利子補給	三重県信用漁業協同組合連合会	東日本大震災で被害を受けた漁業者の資金借入れに生じる利子を補給 借入件数 9件	19,298,904	144,741	復旧に必要な資金の借り入れの円滑化と漁業経営の再生を図った。
計	4件	—	38,274,516	1,854,441	—

(4)栽培漁業の指導・推進

伊勢湾漁業協同組合が取組むクルマエビ、クロダイ、ナマコの種苗放流について、放流適地・放流方法について指導した。

なお、平成17年度に完成した伊勢湾南部中間育成施設（県営）でのクルマエビ、ヒラメの中間育成が実施され、放流サイズが大きくなり、生残率も向上した。

(5)アサリ勉強会

伊勢市の漁業の中心であるアサリ採貝漁業は、昭和60年頃をピークに経営体数、漁獲量とともに減少の一途をたどっており、その状況を打開するために、漁協・漁業者と協働で、平成21年2月に発足した「アサリ勉強会」や漁連・漁協・漁業者・県等と連携する中で、平成22年3月に発足した「三重県あさり協議会」を通じて、資源確保や生産力向上のため、問題・課題の把握からその解決策の検討・実施に向けて取り組んでいる。

○ 漁港管理関係

1 漁港の施設

漁 港 名	種別	外郭施設		係留施設	
		25年度末 現在	26年度末 現在	25年度末 現在	26年度末 現在
村 松	第1種	m 1,403	m 1,403	m 487	m 487
江	第1種	1,564	1,564	261	261
松 下	第1種	503	503	101	101
豊 北	第2種	5,868	5,868	1,825	1,825
計	—	9,338	9,338	2,674	2,674

2 漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する漁港の安全対策や標識灯の点検業務委託を行い、施設の機能維持を図った。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
有 滝 町 地 内	豊北漁港管理用地支障木材伐採業務委託	支障木伐採 一式	円 99,900	26. 8. 19	26. 9. 12
東 豊 浜 町 地 先	豊北漁港標識灯保守点検業務委託	標識灯点検 3 基	75,600	26. 9. 1	26. 10. 31
東 豊 浜 町 地 内 ほ か	豊北漁港草刈等業務委託	草刈・集草・運搬 一式	490,000	26. 12. 8	27. 2. 20
計	3 件	—	665,500	—	—

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
東 豊 浜 町 地 内 ほ か	豊北漁港土路護岸ほか修繕工事	護岸修繕 一式	円 864,000	26. 7. 4	26. 8. 19
村 松 町 地 内	村松漁港胸壁等修繕工事	胸壁等修繕 一式	1,274,400	26. 8. 8	26. 11. 5
二見町松下 地 内	松下漁港修繕工事	構造物修繕 一式	410,400	26. 9. 1	26. 10. 30
〃	松下漁港管理用地整地工事	用地整地 一式	97,200	26. 10. 1	26. 10. 31
〃	松下漁港護岸修繕工事	護岸修繕 一式	1,026,000	27. 1. 15	27. 3. 13
東 豊 浜 町 地 内	豊北漁港土路護岸修繕工事	護岸修繕 一式	1,242,000	27. 1. 16	27. 2. 27
〃	豊北漁港土路物揚場 (D) 修繕工事	物揚場修繕 一式	97,200	27. 2. 24	27. 3. 9
計	7 件	—	5,011,200	—	—

3 水産物供給基盤機能保全事業

漁港施設の経年による老朽化が著しいことから、施設の老朽化機能診断に基づいて、効果的・効率的な施設の改良・更新による施設の長寿命化を図るため、物揚場の業務委託及び保全工事を行った。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
有 滝 町 地 内	(注) 豊北漁港有滝物揚場設計業務委託	設計業務 一式	円 3,787,560	26. 7. 11	26. 10. 8

(注) 平成 25 年度から繰越

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
東 豊 浜 町 地 内	(注 1) 豊北漁港土路物揚場保全 (その 2) 工事	物揚場護岸保全工 (コンクリート被覆工) 43.9m	円 10,260,000	26. 3. 31	26. 5. 30
有 滝 町 地 内	(注 2) 豊北漁港有滝物揚場保全 工事	物揚場護岸保全工 (係留杭補強工) 6 本	17,655,840	26. 11. 28	27. 3. 20
計	2 件	—	27,915,840	—	—

(注 1) 平成 25 年度から一部繰越

(注 2) 平成 25 年度から繰越

○ 漁港建設関係

1 漁業用施設整備事業（防衛）

漁港内の航路において、漁船の安全航行・航行時間の短縮を図るため、浚渫工事を行った。また、経年劣化が著しい船揚施設の機能回復・漁船修理の効率化を図るため実施された整備工事に対し、補助金を交付した。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 手	完 了
東 豊 浜 町 地 先	豊北漁港航路浚渫工事	-3.0m航路浚渫 4,890m ³	円 17,385,840	26. 6. 27	26. 9. 19

イ 補助金関係

事 業 名	事業主体	事 業 量	事 業 費	市補助金	成 果
漁業用施設 整 備 事 業	伊 勢 湾 漁 業 協 同 組 合	豊北漁港有滝船揚場 整備工事 一式	円 10,942,000	円 10,576,000	経年劣化が著しい 船揚施設の改修整 備を行った。

2 大淀漁港整備事業

漁港内の泊地入り口において、漁船の安全航行を図るため、浚渫工事を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 手	完 了
東 大 淀 町 地 内	大淀漁港浚渫工事	浚渫工 1,070m ³	円 6,015,600	26. 7. 11	26. 10. 8

○ 災害復旧関係

1 漁港等災害復旧事業

(1)平成 26 年 8 月 9 日～10 日に発生した台風 11 号により、豊北漁港の港内にゴミが漂着し、漁船の航行に支障となっていたため、これらの撤去を行い、船舶の航路回復と安全航行の確保を図った。

ア 重機借上関係

	施 行 場 所	金 額
重 機 借 上	豊北漁港 有滝町地内ほか	円 836,460

○ 他課関係依頼工事

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

ア 工事関係

所 属	施行場所	工 事 名	工事概要	金 額
観 光 振 興 課	中 島 2 丁 目 地 内 ほ か	第 62 回伊勢神宮奉納全 国花火大会施設工事	放揚施設工 一式 会場周辺安全施設工 一式 場内施設工 一式 付帯工 一式	円 26,766,720
〃	〃	第 62 回伊勢神宮奉納全 国花火大会電気工事	電話設備 一式 電灯設備 一式 仮設工事 一式	2,774,520
〃	辻久留 2 丁目 地 内 ほ か	花火大会防護施設設置 箇所試掘工事	試掘工 302m	518,400
消 防 課	船 江 2 丁 目 地 内 ほ か	消防水利標識設置工事	標識工 16 か所	1,215,000
〃	小 俣 町 宮 前 地 内 ほ か	消防水利蓋改修工事	防火水槽蓋改修 6 か所 防火井戸蓋改修 1 か所	2,396,520
〃	吹 上 1 丁 目 地 内 ほ か	消防水利溶着塗装工事	溶着塗装工 180 か所	1,836,000
社 会 教 育 課	小 俣 町 本 町 地 内	小俣農村環境改善セン ター駐車場区画整備工 事	区画線工 225m	216,000
商 工 労 政 課	朝 熊 町 地 内	サン・サポート・スクエ ア伊勢 2 号広場移設工 事	境界ブロック設置 71.5m 緑地部整地工 300 m ²	1,188,000
〃	〃	サン・サポート・スクエ ア伊勢案内看板設置工 事	案内看板設置 一式	1,274,400

防災施設整備課	磯町地内	磯町津波避難施設測量業務委託	水準測量 一式 現地測量 一式	円 816,480
〃	〃	磯町津波避難施設用地地質調査業務委託	ボーリング工 2 か所	4,524,120
〃	〃	(注1) 磯町津波避難施設（マウンド）設計業務委託	造成実施（詳細）設計 一式 擁壁補強土予備設計・擁壁構造比較検討 1 か所 重力式擁壁設計 一式 既設堤体の解析 一式 付帯建築物設計 一式 各種申請書作成 一式	11,722,320
計	12 件	—	—	55,248,480

(注1) 平成27年度へ繰越

観 光 振 興 課

○ 海水浴場管理運営事業

明治 15 年に「日本第一号の公設海水浴場」として始まった二見浦海水浴場の運営を平成 26 年 7 月 5 日～8 月 31 日までの間行った。

海水浴場の管理運営については、（公社）伊勢市観光協会へ委託し、案内や駐車場管理、巡視看護等を行った。

また、海水浴場開設前には、海岸清掃を二見町旅館組合等の観光関係団体、小中学校、地域住民が協力して行ったほか、企業のボランティア協力により、作業車で清掃活動も実施していただいた。

海水浴客数延べ 18,950 人 駐車台数 1,040 台

○ もてなし心醸成事業関係

1 バリアフリー観光向上事業

日本全体が高齢化し人口減少社会へ向かう中、高齢者や障がいを持つ方に観光旅行を楽しんでいただき国内からの宿泊旅行者数を増加させることを目的に、平成 23 年度から受け入れ力強化のための取り組みを行っている。

平成 26 年度は、平成 25 年度に実施した「伊勢市バリアフリー観光旅行調査」の結果、高いニーズが確認された事業について、取り組んだ。

（1）車椅子参拝サポート事業化検討

平成 26 年度は、（公社）伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、皇學館大学、NPO 法人伊勢志摩バリアフリースターセンターとともに、伊勢神宮内宮の車椅子参拝を継続してサポートできるしくみづくりを検討した。

【第 1 回検討会議】平成 26 年 6 月 28 日開催 主旨、検討方法、スケジュールの確認

【第 2 回】平成 26 年 7 月 8 日開催

検討「車椅子参拝サポート事業化は、どうすれば実現するか？」

【第 3 回】平成 26 年 8 月 5 日開催 検討「実施主体、育成、組織と立ち上げについて」

【第 4 回】平成 26 年 8 月 28 日開催 検討「スタッフ、供給のしくみ、拠点について」

【第 5 回】平成 26 年 9 月 30 日開催

検討「実行委員会組織と活動スケジュールについて」

【第 6 回】平成 27 年 2 月 26 日開催 目標と実施体制、将来ビジョンの共有

（2）情報発信事業

「おはらい町」「外宮参道」の 2 エリアについて、バリアフリーまち歩きマップを作成し、市内観光案内所に設置した。

マップは伊勢市および（公社）伊勢市観光協会、NPO 法人伊勢志摩バリアフリースターのホームページから閲覧できるようにし、さらにエリア、目的（食べる、見るなど）、条件（段差無し、洋式トイレ完備など）を選択し、施設情報を検索できるようにした。

マップ作成部数：各エリア分 5,000 部ずつ

委託先：NPO 法人伊勢志摩バリアフリースター（マップと専用サイト作成）

委託金額：3,052,512 円

委託期間：平成 26 年 6 月 11 日～平成 27 年 3 月 20 日

2 おもてなし推進事業

（1）おかげ年フォーラム事業

地域愛を醸成しおもてなし力向上につなげるため、おかげ参り推進会議（事務局：伊勢商工会議所）と協働でフォーラムを実施した。

【第 1 回】平成 26 年 6 月 28 日開催（参加者 130 名）

「伊勢のおもしろ雑学」講師 山中一孝 氏（（公社）伊勢市観光協会副会長）

【第 2 回】平成 26 年 7 月 26 日開催（参加者 115 名）

「伊勢→熊野 歩く旅」講師 福元ひろこ 氏（文筆家）

【第 3 回】平成 26 年 11 月 16 日開催（参加者 111 名）

「倭姫命 と 女性たち」講師 音羽 悟 氏（神宮司廳広報室広報課係長）

【第 4 回】平成 27 年 2 月 7 日開催（参加者 198 名）

「大和と伊勢」講師 菅谷文則 氏（奈良県立橿原考古学研究所所長）

（2）案内サイン整備事業

観光客が散策、回遊など行動しやすい環境を整えるため、下記のとおり観光案内サインの整備を行った。

① 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 手	完 了
二見町松下 地 内 ほ か	(注) 観光案内サイン 整備修繕工事	大型標識工設置 1 か所 大型標識工取替 11 か所 小型標識工設置 13 か所	円 19,884,960	26.12. 5	27. 3.11

(注) 維持課施行

（3）奉祝団体歓迎事業

全国から訪れる第 62 回神宮式年遷宮を奉祝する行事を受け入れ、市民及び観光客の安全を確保するとともに、これらの行事を多くの方々に楽しんでもらうことを目的とした「御遷宮奉祝行事受入実行委員会」に参画し、事務局として準備と下記のとおり受け入れを行った。

事業名	開催日	場所
西条だんじり等奉納	26. 4. 12 (土)	曾祢 1 丁目～月夜見宮前～外宮参道～外宮～県道鳥羽松阪線
戸畑祇園大山笠 奉祝奉納	26. 10. 3 (金)	伊勢市駅前広場～外宮参道～外宮、宇治橋前～おはらい町～宇治橋前
男里南組やぐら奉祝曳行	26. 10. 26 (日)	市営宇治駐車場～おはらい町～宇治橋前～おはらい町～市営宇治駐車場

(4) 観光人材育成事業

観光業者や飲食店等のおもてなし従事者等を対象に中国語（台湾）でのおもてなし研修を実施し、おもてなしのスキルアップを図った。

開催日	内 容	場 所	参加者	講 師
27. 2. 18	中国語圏（台湾）の観光客接遇	伊勢市労働福祉会館	90 人	JTB 外国人おもてなし研修 講師 中国語・通訳案内士 六鹿 桂子 氏

(5) おもてなし多言語化促進事業

伊勢市を訪れる外国人観光客が快適に過ごせるよう、市内飲食施設、宿泊施設等がパンフレット、メニュー等を日本語と英語等で多言語化した場合、補助金を交付した。

・実績（平成 26 年度）

交付実績 2,715,000 円

16 業者 16 店舗（飲食施設 14 件、宿泊施設 1 件、土産品販売店 1 件）

(6) デジタルサイネージ保守事業

市内各所の観光案内を映像で発信できるよう、市内観光案内所等に設置したデジタルサイネージの保守を実施した。

委託金額 259,200 円（契約期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

(7) 車イス貸出事業

外宮周辺や内宮周辺を訪れる高齢や身体の不自由な観光客が安心して観光できるよう、伊勢市駅観光案内所と宇治浦田観光案内所において、車イスの無料貸出を行った。

・実績（平成 26 年度）

	伊勢市駅観光案内所	宇治浦田観光案内所
保有台数	3 台	6 台
貸出合計台数	137 台	805 台

(8) (公社) 伊勢市観光協会青年部事業

(公社) 伊勢市観光協会青年部と協力し、以下の事業を行った。

・平成“食”のおかげ参り事業

伊勢市及びその周辺の食文化の調査・研究・開発。

・サイクルフォト事業

自転車で名所・旧跡・まちかどを巡り、撮影ポイントの写真を撮って記念品をもらうイベント。

・マスコットキャラクター事業

(公社)伊勢市観光協会のマスコットキャラクターの着ぐるみの作成・活用。

○ 災害に強い観光地づくり事業

発生が危惧されている南海トラフの巨大地震等の災害から観光客の生命を守るために緊急時に避難場所まで誘導する環境を整備し、おもてなしと安心・安全の観光地となるために下記の整備を行った。

1 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 手	完 了
二見町茶屋 地 内 ほ か	(注1)(注2) 観光客避難場所誘導看板 設置(その1)工事	看板設置工 16 基	円 5,558,760	26. 4. 25	26. 7. 11
二 見 町 江 地 内	(注2) 観光客避難場所誘導看板 設置工事	看板設置工 12 基	4,224,960	26. 12. 5	27. 2. 20
計	2 件	—	9,783,720	—	—

(注1) 平成25年度から繰越

(注2) 監理課施行

○ 観光一般事業関係

1 観光案内所及び伊勢市駅手荷物預かり所の運営

市が設置する観光案内所(伊勢市駅、宇治山田駅、二見浦、宇治浦田、外宮前)を(公社)伊勢市観光協会に委託し、運営管理を行った。

なお、伊勢市駅、宇治山田駅、外宮前観光案内所は、三重県内では唯一の外国人観光案内所カテゴリー2(注)に指定され、外国人旅行者に対しても積極的な観光案内を行っている。

・伊勢市観光案内所運営管理業務委託

委託金額 21,757,619円(契約期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(注)外国人観光案内所カテゴリー2:少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐し、広域の案内を提供できる。

また、観光案内所は観光客を最初に迎える場所であることから、美化に務める必要があるため、年2回の床や壁の定期清掃及び宇治浦田観光案内所と伊勢市駅手荷物預かり所にある便所についての日次清掃を行った。

・伊勢市観光案内所等清掃業務委託

委託金額 3,240,000 円（契約期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

（１）伊勢市駅観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
総件数	5,437	7,206	4,660	6,188	6,758	5,939	5,051	6,079	5,080	6,306	4,283	5,212	68,199
外国人 件 数	392	183	160	226	234	174	148	144	162	99	135	156	2,213

（２）宇治山田駅観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
総件数	2,998	3,691	2,766	2,912	3,134	2,769	2,829	3,333	2,716	3,262	2,337	3,021	35,768
外国人 件 数	96	54	44	72	59	45	55	51	84	44	59	65	728

（３）二見浦観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
総件数	715	940	743	640	835	869	770	873	693	789	751	803	9,421
外国人 件 数	24	19	14	26	21	23	19	23	27	12	12	18	238

（４）外宮前観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
総件数	7,480	8,708	5,960	5,655	7,534	8,716	7,432	7,307	6,345	6,649	5,686	7,074	84,546
外国人 件 数	110	97	77	72	95	77	108	102	75	75	42	85	1,015

（５）宇治浦田観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
総件数	4,240	5,139	3,703	4,752	7,450	4,247	4,666	6,092	5,003	6,738	4,196	6,379	62,605
外国人 件 数	81	21	34	62	36	42	42	37	33	17	23	17	445

また、観光客が軽装で観光ができるよう伊勢市駅手荷物預かり所において、荷物の一時預かりや宿泊施設等への配送サービスを行った。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
荷 物 預かり	1,897	3,561	1,749	1,869	2,857	3,252	2,655	4,331	2,317	1,767	1,551	2,825	30,631
宿泊施 設配送	1,850	3,022	2,093	1,996	2,959	3,127	2,854	3,551	1,795	1,430	1,513	2,660	28,850
計	3,747	6,583	3,842	3,865	5,816	6,379	5,509	7,882	4,112	3,197	3,064	5,485	59,481

2 (公社) 伊勢市観光協会への活動支援

平成 25 年に公益社団法人化された伊勢市観光協会は、昭和 25 年に宇治山田市観光協会として設立されて以来、行政と営利を目的とする観光関係事業者を中心とした民間企業との中間的な存在で、旅客誘致に係るイベント実施や観光宣伝など、様々な分野で弾力的・柔軟的に活動している。財政基盤の強化と事業展開の推進のため財政的な支援として助成を行った。

3 伊勢市駅前ほかイルミネーション設置工事

J R 伊勢市駅前広場、近鉄宇治山田駅前広場の樹木に L E D イルミネーションを設置し、駅前の賑わいの創出、観光客受入のための光の演出を行った。

(1) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 手	完 了
吹上 1 丁目 地 内 ほ か	(注) 伊勢市駅前ほかイルミネ ーション設置工事	イルミネーション 設置 2 か所	円 739,800	26.11.10	27. 2.10

(注) 維持課施行

4 スポーツ関連行事もてなし事業

(1) 秩父宮賜杯第 46 回全日本大学駅伝対校選手権大会【平成 26 年 11 月 2 日 (日)】

熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前の 8 区間 106.8km を結ぶ大会が開催された。市内の太鼓団体が沿道で選手を歓迎応援するなど選手及び観客をもてなした。

(2) 2014 中日三重お伊勢さんマラソン【平成 26 年 12 月 6 日 (土) ～ 7 日 (日)】

「お伊勢さんマラソン」の参加者をおもてなし部門として、6 日 (土) に二見プラザにてウェルカムパーティーを開催した。

また、大会中は会場内の物産展等で使用できる「お伊勢さんチケット」を作成したほか、市内入浴施設の協力のもと大会参加者への入浴案内や市内の太鼓団体の協力を得て沿道で全国から参加した選手の歓迎と応援を行った。

(3) 第 8 回美し国三重市町対抗駅伝【平成 27 年 2 月 15 日 (日)】

津市県庁前から市内にある県営総合競技場までの 10 区間 42.195km を結ぶ大会が開催された。市内沿道に歓迎・応援用のぼりを設置したほか、市内の太鼓団体と伊勢市女性団体連絡協議会が選手の歓迎と応援を行った。

○ 観光振興基本計画推進事業

平成 25 年度に策定した観光振興基本計画の推進・進行管理を図るため、伊勢市を訪れる観光客の実態を把握、分析し、市内観光関連組織・団体等の代表者等からなる会議を開催し、計画の検証を行った。

(1) 伊勢市観光客実態調査

観光客の旅行目的、滞在種別（日帰り・宿泊）、来訪手段、旅行費用、満足度など、伊勢市を訪れる観光客の行動実態を明らかにするため、観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準」に沿った形で、伊勢を訪れている観光客を対象とした対面式の聞き取り調査を実施した。

委託先：株式会社 地域計画建築研究所 大阪事務所

委託金額：2,484,000 円

委託期間：平成 26 年 8 月 27 日～平成 27 年 3 月 25 日

調査地点：内宮周辺、外宮周辺、二見、河崎の市内観光地域 4 か所

調査実施日：平成 26 年 10 月 25 日、12 月 13 日の計 2 回実施

(2) 位置情報データ（GPS データ）を活用した観光動態調査

観光振興基本計画策定時に実施した携帯電話、スマートフォンの GPS データを活用した観光動態調査に対し、データ時点を追加するなどして追跡調査を行った。

委託先：株式会社 リクルートホールディングス

委託金額：10,260,000 円

委託期間：平成 27 年 1 月 9 日～平成 27 年 3 月 13 日

(3) 伊勢市観光振興基本計画に基づく観光振興のための意見交換会

伊勢市観光振興基本計画策定推進会議委員のうち、伊勢市内で広く観光全般に携わっている方に参加を呼びかけ、意見交換会を開催し、(1) (2) の調査結果や伊勢市観光統計、三重県の観光客実態調査結果等に基づき、伊勢市観光振興基本計画の検証を行った。

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 観光情報発信事業

(1) 外宮周辺魅力創出・発信事業

内宮周辺に集中している観光客を、外宮周辺の集客事業を行うことによって分散し、さらに市内周遊につなげること、また、伊勢の夜の飲食店の魅力を高め発信することにより、滞在時間の延長及び伊勢への宿泊を促進し、観光消費額を向上させることを目的に、伊勢商工会議所と協働で各種事業を行った。

①外宮誘客事業

内宮・外宮間に外宮誘客の屋根看板、車内広告をつけた路面バス 10 台の運行を行った。

②外宮周辺資源活用事業

外宮周辺の魅力を紹介したまち歩きパンフレットの作成と、そのパンフレットの観光案内所・市内主要施設等での配布。

③朝市・参宮の木札事業の広報並びに組織育成支援事業

朝市の集合折込チラシへの広告掲載、市民ボランティアとの連携による参宮木札配付とアンケート調査実施、木札施行店舗の会の運営補助。

④夜の魅力創出事業

伊勢商工会議所のほか、（公社）伊勢市観光協会とも連携。

a) よいまちバル実証実験事業

外宮前バス停広場から半径 450m に立地する、通常夜間営業している洋食店やバー等の飲食店を参加対象店舗とし、スペインの立ち呑み食堂「バル」にヒントを得た立ち呑みイベント「YOIMACHI BAR(よいまちバル)」を実施。

時間設定の工夫やスタンプラリー等のしくみにより店舗への周遊を促進。

今年度は実験的に外宮参道でイベントを開催し検証。

b) 泊食連携促進事業

宿泊施設から歩いて行ける、晩御飯の食べられる飲食店情報マップを作成、配布。

地図エリアにある条件に合う店舗は（公社）伊勢市観光協会会員や伊勢商工会議所会員に限らず全て声かけし、掲載許可を経て掲載したため、各団体が作成するマップより公平性があり、お客様の店舗選択をマップ作成団体の会員に片寄らないようにできる意義のある地図となった。

(2) 外宮前名物・御饌井（みけどん）事業

参加店 17 店舗と企画部会 7 名からなる組織「外宮前名物・御饌井の会」で、外宮のお膝元で地元食材を使った井を開発・販売し、食への感謝を発信している。

2 第 7 回美し国三重「寄せ植え」コンテスト【平成 26 年 6 月 13 日（金）～15 日（日）】

外宮前バス停横広場で三重県種苗園芸協会との共催により、第 7 回美し国三重「寄せ植え」コンテストを開催した。三重県内外から約 250 点の作品が、コンテナガーデン部門、ハンギングバスケット部門、フレーム部門、マスター&プロ部門に出品され、約 15,000 人が来場した。

3 （公社）伊勢市観光協会との共同事業

（公社）伊勢市観光協会と協力し以下の事業を行った。

・春まつり

日本の桜 100 選にも選ばれる宮川堤の桜の満開時期にあわせて開催し、観光客の誘致に活用。

・観月茶会

季節ごとの伊勢の行事を観光客の方に堪能してもらう秋の行事。

・第 10 回日本観光交流・伊勢会議及び第 47 回観光祈願祭

国の観光関係者が伊勢に集い、観光の意義と重要性を認識し、健全な観光の推進を図る行事。

・初参り接遇事業

外宮参道、伊勢市駅前広場付近において、地元団体と共同で初詣客におもてなしを行う事業。

○ 観光行事振興事業関係

第 62 回伊勢神宮奉納全国花火大会【平成 26 年 7 月 19 日（土）】

伊勢神宮奉納全国花火大会委員会へ負担金を支出し、事務局として準備等に関わり、以下のとおり大会を実施した。

本大会は、北は秋田県から南は鹿児島県の全国各地から選抜された花火師が参加する競技花火大会で、打上花火の部 45 組、スターマインの部 10 組の 2 部門で競われ、競技大会ならではの格調、質ともに全国トップレベルの花火玉約 10,000 発が打ち上げられ、約 23 万人が観覧した。

オープニングスターマインのほか、大会中盤に今大会オリジナル曲に合わせて前年度優勝者による大会提供スターマインを打ち上げた。また、グランドフィナーレでは、神宮式年遷宮イメージソングに合せてスターマインを打ち上げた。今回も NPO 団体の協力により、65 名のボランティアが、ごみの持ち帰り及び分別ナビゲート活動を行い環境に配慮した大会運営に努めた。

1 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 手	完 了
中 島 2 丁 目 地 内 ほ か	(注) 第 62 回伊勢神宮奉納全 国花火大会施設工事	放揚施設工 一式 会場周辺安全施設工 一式 場内施設工 一式 付帯工 一式	円 26,766,720	26. 5. 22	26. 8. 1
〃	(注) 第 62 回伊勢神宮奉納全 国花火大会電気工事	電話設備 一式 電灯設備 一式 仮設工事 一式	2,774,520	26. 5. 16	26. 8. 1
辻久留 2 丁目 地 内 ほ か	(注) 花火大会防護施設設置箇 所試掘工事	試掘工 302m	518,400	26. 10. 31	26. 12. 24
計	3 件	—	30,059,640	—	—

(注) 農林水産課施行

○ 御遷宮旅客受入推進事業

1 伊勢市駅手荷物預かり所自転車置場設置工事

手荷物預かり所を利用する観光客の市内周遊を促進し、利便性を向上するため、レンタサイクルの台数を増加し、自転車置場を新たに設置した。

(1) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
吹 上 1 丁 目 地 内	(注) 伊勢市駅手荷物預かり 所自転車置場設置工事	自転車置場設置 一棟 メッシュフェンス改修 一式	円 2,754,000	26.11.28	27. 2.25

(注) 建築住宅課施行

2 御遷宮旅客受入基盤整備事業

第 62 回神宮式年遷宮を目前に控えた平成 25 年 7 月 20 日、観光客の増加に伴う交通渋滞対策や公共交通機関の利用促進、観光客の市内周遊の利便性向上などの課題を解消するため、三重交通株式会社と協働で、市内観光周遊バス「参宮バス」（外宮～夫婦岩ルート、スカイラインルート）の運行を開始した。「おかげ年」である平成 26 年度も昨年度に引き続き運行を行った。

平成 26 年度の利用状況

単位：人

	外宮～夫婦岩ルート		スカイラインルート	
月	宇治山田・ 松尾観音寺発	民話の駅蘇民発	山上公苑発	内宮前発
4	648	991	72	75
5	1,100	1,410	124	95
6	756	1,015	88	87
7	796	984	64	56
8	1,006	1,437	75	74
9	963	1,512	157	154
10	779	1,201	394	370
11	952	1,470	208	171
12	766	1,059	134	126
1	887	1,502	153	137
2	589	1,049	59	62
3	898	1,277	99	100
計	10,140	14,907	1,627	1,507

○ 民俗伝統行事推進事業

昨年度の内宮外宮お白石持行事に引き続き、平成 26 年度の別宮お白石持行事实施に係る各種調整、運営や広報事業を行った。

関係機関及び関係団体と行事について調整を行い、また奉曳の環境整備として、交通規制の調整・周知、規制・誘導看板や警備員の配置、仮設トイレの設置、本部への看護師の配置などを行った。

別宮お白石持行事実績

	開催日	参加人数
月読宮	26. 9. 28 (日)	700 人 (1 奉献団)
倭姫宮	26. 11. 30 (日)	4,260 人 (5 奉献団)
月夜見宮	27. 2. 22 (日)	1,003 人 (1 奉献団)

※別宮御白石奉献団連合会終了式 平成 27 年 3 月 26 日 (結成式 平成 26 年 2 月 11 日)

7 月 23 日 (水) ～29 日 (火) いせシティプラザで、長きにわたり神宮を撮り続けてきた写真家 宮澤正明氏による御遷宮を中心とした「伊勢神話への旅」写真展を行った。また、写真家 松原豊さんによるお白石持行事、特に人を中心に捉えた「伊勢の町衆」写真展を同時開催した。

10 月 3 日 (金) には、神宮の宇治橋新鳥居竣工式に伴い、宇治橋鳥居竣工記念奉祝行事・国民総参宮を行い、参拝後、参加者には記念の木札を配布した。

○ 伝統的観光行事振興事業

伊勢のまつりブランド化推進事業【平成 26 年 10 月 14 日 (火) ～16 日 (木)】

日本全国の有名な祭り 20 団体、約 600 名による響演「祭のまつり」が 15 日 (水) に外宮周辺で開催され、前日の 14 日 (火) には三重県営サンアリーナにおいて前夜祭が行われた。

また、伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳が 15 日 (水) に外宮領陸曳、16 日 (木) に内宮領川曳が実施された。

観客数延べ 99,500 人 (10 月 14 日～16 日)

○ 集客誘致大会開催事業

2014 中日三重お伊勢さんマラソン【平成 26 年 12 月 6 日 (土) ～7 日 (日)】

1 日目にウォークの部、2 日目にランニングの部 (一般の部、公認の部) として、ハーフマラソン・10km・5km・3km (公認の部のみ) の4種目を開催した。また、昨年度の反省や意見を踏まえ、各分野の見直しを行うことで、大会のより一層の充実を図ったところ、参加申込者数は 11,912 人、当日参加者数は 10,644 人となった。

・参加申込者数 (詳細)

【一般の部】 (単位：人)

年代別	ランニング						ウォーク		計
	5km		10km		ハーフ				
	男	女	男	女	男	女	男	女	
10未満	—	—	—	—	—	—	87	97	184
10～17	—	—	—	—	—	—	76	67	143
18～29	254	227	257	195	249	135	61	111	1,489

30～39	277	246	460	285	534	243	117	231	2,393
40～49	332	270	424	272	637	297	214	399	2,845
50～59	220	183	290	159	507	163	198	540	2,260
60～69	136	77	229	52	215	22	190	402	1,323
70～79	66	26	84	16	44	1	134	208	579
80以上	30	1	7	—	1	—	32	14	85
計	1,315	1,030	1,751	979	2,187	861	1,109	2,069	11,301
	2,345		2,730		3,048		3,178		
	8,123								

【公認の部】 (単位：人)

年代別	3km		5km		10km		ハーフ		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
中学生	—	143	143	—	—	—	—	—	286
高校生	—	—	—	59	152	—	—	—	211
一般	—	—	—	—	24	5	63	22	114
計	—	143	143	59	176	5	63	22	611

・都道府県別参加申込者数

【一般の部】 (単位：人)

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	9	千葉県	39	岐阜県	195	香川県	4	大分県	2
青森県	2	東京都	134	滋賀県	58	愛媛県	1	熊本県	1
岩手県	1	神奈川県	74	京都府	78	高知県	2	宮崎県	1
宮城県	1	山梨県	2	大阪府	273	鳥取県	2	沖縄県	1
山形県	2	新潟県	7	和歌山県	16	島根県	4		
福島県	1	長野県	19	奈良県	58	岡山県	13	(伊勢市)	(2,811)
茨城県	11	富山県	10	石川県	11	広島県	9		
栃木県	3	静岡県	63	福井県	17	福岡県	21		
群馬県	4	愛知県	2,142	兵庫県	74	佐賀県	2		
埼玉県	42	三重県	7,881	徳島県	10	長崎県	1	合計	11,301

・最高年齢 男子 94 歳、女子 88 歳

・連続出場者 5 回連続 671 人、10 回連続 33 人、15 回連続 33 人、20 回連続 22 人、
25 回連続 16 人、30 回連続 2 人

観 光 誘 客 課

○ もてなし心醸成事業関係

キャラクターおもてなし事業

伊勢市の観光PRキャラクターはなてらすちゃんを活用するため、イラストやロゴを様々な商品、印刷物等に利用できるようキャラクター等使用の申請を受け付けました。また、キャラクターのイベント参加、庁内ボランティアによる活動だけでなく、幅広く活躍の場をもてるよう着ぐるみの貸し出しを行いました。

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 観光情報発信事業

(1) 広告宣伝による誘客活動

新聞や雑誌等の広告媒体を活用し情報発信を行いました。実施に当たっては、三重県や周辺組織・団体の取り組みと地域やターゲットが重複しないよう、棲み分けに努めました。

また業務の一部を委託し、内容の充実と事務の効率化を図りました。

委託先：株式会社アド近鉄伊勢支店

委託金額：2,970,000 円

委託期間：平成 26 年 9 月 24 日～平成 27 年 3 月 16 日

<掲載実績：委託業務分>

	媒体名	掲載日	備考
1	ことりっぷ	26. 11. 27	純広告 1P + 記事 3P
2	一個人	26. 12. 26	純広告 1P + 記事 1P
3	旅の手帖	27. 2. 10	純広告 1P + 記事 3P
4	旅行読売	27. 3. 3	純広告 1P + 記事 1P

<掲載実績：直接掲載分>

平成 26 年度掲載件数：38 件

	媒体名	掲載日	備考
1	旬刊旅行新聞	6. 21	全国
2	奈良新聞	7. 5	奈良
3	聖教新聞東海版	7. 13	東海 3 県
4	週刊まつもと①	7. 18	長野
5	信濃毎日新聞①	7. 24	長野
6	ドライブぴあ東海版	9. 10	東海

	媒体名	掲載日	備考
20	Ami	1. 9	名古屋
21	poroco 2月号	1. 20	北海道
22	産経新聞東海北陸版	1. 21	東海北陸
23	産経新聞大阪市内版	1. 22	大阪
24	産経新聞奈良版	1. 22	奈良
25	womo 浜松 2月号	1. 29	静岡

7	旬刊旅行新聞②	9. 21	全国
8	特宿①	9. 25	九州
9	ファミリーレジャーガイド	9. 29	東海
10	名駅物語	9. 30	名古屋
11	伊勢新聞	10. 19	三重
12	Home Nasse	11. 25	九州
13	tomato 12月号	12. 1	広島
14	わおマップ	12. 2	全国
15	womo 浜松 1月号	12. 18	静岡
16	週刊まつもと②	12. 19	長野
17	poroco 1月号	12. 20	北海道
18	Buzz Tokus	12. 22	九州
19	信濃毎日新聞（正月広告）	1. 1、1. 3	長野

26	tomato 2月号	2. 1	広島
27	poroco 3月号	2. 20	北海道
28	産経新聞	2. 20	西日本
29	シティリビング	2. 20	大阪他
30	中日新聞	2. 23	中部
31	C H E E K 4月号	2. 23	東海
32	womo 浜松 3月号	2. 26	静岡
33	産経新聞東海北陸版	3. 6	東海北陸
34	週刊まつもと	3. 6	長野
35	別冊しんぷる	3. 15	三重
36	C H I C 3/15号	3. 15	広島
37	日帰りドライブぴあ	3. 20	関西
38	特宿	3. 25	九州

掲載金額：3,022,740円

（２）公共交通機関タイアップ誘客キャンペーンの推進

おかげ年である平成26年は、遷宮年の混雑を避けた観光客を誘致しリピーターを確保する絶好の機会であったため、公共交通機関とタイアップした誘客キャンペーンを実施しました。

① J R 東海・近鉄・名鉄ポスターキャンペーン

近畿日本鉄道（株）・東海旅客鉄道（株）・名古屋鉄道（株）とタイアップし、各鉄道会社が広告掲出料を負担する代わりに、伊勢市が各鉄道会社の情報枠を設けたポスターを作成しました。ポスターは各鉄道の駅等に掲出していただきました。

ポスターは青空の中、神宮の鳥居に日が昇る写真を使用し、伊勢を印象づける内容としました。

新幹線車内で掲出することで J R 西日本エリアでも露出を図ることができ、関東主要駅である東京駅・品川駅では、たくさんのポスターやデジタルサイネージなどで、効果的に掲出していただくことができました。

新幹線は9月末まで掲出し、その他は11月末まで掲出を行いました。

② J R 東海・近鉄御朱印企画ポスターキャンペーン

近畿日本鉄道（株）・東海旅客鉄道（株）とタイアップし、市で作成したポスターに各鉄道会社の情報枠を設け、掲出費用を各鉄道会社に負担していただき、関係公共交通機関へ掲出しました。

このポスターでは深緑の中できらきら光る鳥居の写真を採用し、御朱印を活用した旅行商品を P R し、女性の誘客を狙った内容としました。このポスターキャンペーンについても東京

駅・品川駅、新幹線車内で掲出していただき、伊勢の露出を図りました。

また、このキャンペーンでは、東武鉄道（株）とも連携し、同様のポスターを平成 27 年 1 月 26 日から 2 月 15 日まで、池袋駅に連張りして伊勢の露出を図るとともに、伊勢の旅行商品販促キャンペーンとして、東武トラベル店舗でのポスター掲出及び伊勢の動画の放映等の販促活動、トップツアー及び東武トラベルのWEBサイトからの誘導強化に取り組みました。

（３）バス車体広告

遷宮後も引き続きリピーターの確保が期待できる近隣府県（愛知県および大阪府については広域連携も含めて伊勢志摩のPRイベントを行っているので除外）に向け、路線バスへの広告を掲載し、伊勢への誘客を図りました。

平成 26 年度広告掲載状況

都道府県	バス会社	主な運行エリア
京都府	京都市交通局	京都市内
滋賀県	近江鉄道バス	大津市内ほか
岡山県	岡山電気軌道	岡山市内
長野県	長野電鉄バス	長野市内
兵庫県	神姫バス	神戸市内
岐阜県	岐阜バス	岐阜市内
静岡県	静鉄バス	静岡市内、清水市内
	遠鉄バス	浜松市内

委託先：三重交通株式会社

委託金額：3,969,648 円

委託期間：平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

（４）デジタルメディアの活用

市内を走るタクシーやバスの車内、また市内の観光施設などに液晶ディスプレイを設置し、イベント情報や観光情報、有事の際の情報などを放映し、観光客の利便性向上を図りました。

また、東京都内のタクシーにも同様のディスプレイを設置し、伊勢の観光情報を放映することにより、誘客を図りました。

委託先：株式会社ディプラス

委託金額：8,400,000 円

委託期間：平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

(5) テレビ放送を活用した情報発信

遷宮後も旅行者の伊勢に対する興味を喚起するため、テレビ放送での伊勢市の露出を確保し、伊勢の情報発信を行いました。

①九州への情報発信

平成26年10月3日に北九州市の戸畑祇園山笠が奉納のため来勢しました。そこで、九州のテレビ局であるRKB毎日放送（株）とタイアップし、戸畑祇園山笠の特集番組に伊勢の観光情報を入れ、九州に向けて伊勢をPRしました。

②県内への情報発信

三重テレビ放送（株）が制作を行う「旬感みえ」にて、伊勢の観光情報を中心に情報発信を行い、県内からの誘客を図りました。

(6) 旅行会社へのセールス活動

正しい伊勢の情報や地元商品の情報を提供し、旅行会社に「伊勢は旅行商品を造成しやすい地域」と認識されるよう、各旅行会社へのセールス活動を行いました。

平成26年度については、6月に四国・九州の主要旅行会社への営業を行いました。すでに旅行商品を展開しているところへは、継続した展開をお願いし、まだ展開していないところへは、新たな商品提案を行いました。

(7) ホームページを活用した情報発信

（公社）伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信を行いました。

年度	アクセス数 (携帯電話含む)	稼働日数	一日平均
22	723,104	365	1,981.1
23	837,292	366	2,287.7
24	1,214,201	365	3,326.6
25	2,271,186	365	6,222.4
26	1,953,569	365	5,352.2
合計	6,999,352	1,826	3,833.2

(8) 観光パンフレットの利活用による情報発信並びに誘客活動

来勢する前に読んでいただく総合観光パンフレット、PRイベント等で伊勢の概要を紹介する概要版観光パンフレット、来勢されてから使っていただく各種マップ、外国語版のパンフレット類など、目的別に（公社）伊勢市観光協会と共同作成しました。また観光展等での配布のほか、観光案内所での配布、各種集大会による来訪者への配布、広告事業と連動した媒体等を

通じたパンフレット送付依頼対応、旅行会社等での配布など、用途に応じて効果的に使い分けを行いました。

年度	パンフレット郵送件数
22	1,261
23	966
24	1,988
25	1,171
26	788

(9) フェイスブックページ運用事業

当初平成24年7月20日から平成26年3月31日までの予定で運用していた「伊勢市観光企画課 Facebook ページ」について、好評のため継続実施し、伊勢の観光情報、イベント情報などを主に発信しました。

発信者と受け手との双方向のやりとりが可能なSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）での取り組みであり、気軽に読めてわかりやすい発信を心がけるとともに、コメントには基本的に返信を行い読者との交流を図りました。

2 広域連携事業

伊勢熊野観光連絡協議会・（公社）三重県観光連盟・（一財）伊勢志摩国立公園協会・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会・伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会・（公社）日本観光振興協会・歴史街道推進協議会・風景街道「伊勢街道」連絡協議会・NPO法人全国街道交流会議、三重の観光営業拠点運営協議会等に参画し、事業展開を図りました。

3 ターゲティング戦略推進事業

平成17年度から継続している事業（旧事業名：「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業）で、伊勢への誘客の一環として、伊勢の旅行商品の開発、旅行会社に向けた資料の作成等を行い、東海、関西、関東を中心に、北海道、中国・四国、九州など全国の旅行会社への、旅行商品の企画提案と流通促進を行ってきました。

遷宮後となる平成26年度からは、リピーターの確保を目標に据え、新たに「ターゲティング戦略推進事業」と名称を変更し、毎年お伊勢参りにお越しいただけるような旅行商品を開発しました。具体的には「外宮界限ほろ酔いプラン」を新たに商品開発し、外宮周辺への誘客を図りました。

実施に当たっては、専門業者に業務を委託し、魅力的な商品をたくさんの旅行会社へ、幅広く提案しました。また新規開拓も含め広い対象地域を設け、伊勢への来訪客増加を目指しました。

また、すでに販売中の「食べ歩きクーポン」や「観光案内人を活用した商品」などについても、

さらに魅力ある商品になるよう、一部の商品について改良を行いました。

4 伊勢志摩広域観光活性化事業

(1) (公社)伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

伊勢志摩地域への誘客による活性化のため、(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構(平成6年3月設立、平成14年11月名称変更、平成18年4月社団法人化、平成24年4月公益社団法人化)に参画し、伊勢志摩への集大会・会議・展示会・イベント等のコンベンション誘致、伊勢志摩地域の情報発信に向けた観光事業・フィルムコミッション事業等を展開しました。また「三重県と全国イオンの取り組み」などに、伊勢志摩観光コンベンション機構を通じて参画しました。

(2) 伊勢志摩キャンペーン事業

平成17年度から実施してきた「伊勢志摩キャンペーン」(平成25年度のみ「せんぐう旅博」として拡大実施)を、今年度も継続して実施しました。

平成26年10月1日から平成27年3月31日まで、三重県・伊勢志摩地域各団体・近畿日本鉄道(株)などと協働で実施。東京・大阪・名古屋地域をキャンペーンの重点対象地域に設定し、プレゼント企画等各種キャンペーンを展開しました。コンセプトブック・チラシ・ポスター等の誘客ツールを作成し、近鉄沿線や旅行会社等へ配布し、また各種広告媒体での情報発信や、旅行会社とのタイアップによる誘客を行いました。

(3) 伊勢志摩学生団体誘致事業

伊勢志摩地域の行政、民間施設等と共同で学生団体旅行の誘致活動を行いました。

学生団体旅行ガイドブック「伊勢志摩においないさあ」の改訂増刷、学校関係者へ伊勢志摩の体験学習を周知するための発表会の開催、学校訪問及び誘致セミナー、現地視察招へい、関係機関との情報交換などを実施しました。

平成26年度は、4月に首都圏(大田区、世田谷区、渋谷区、町田市、川崎市、藤沢市)の公立中学校訪問セールス、7月に関西圏(神戸市等)の公立小学校訪問セールスを実施しました。

5 外国人観光客誘致推進事業

経済成長力と来日規模から注目される中国・東アジア・東南アジアとともに、欧米諸国などからの誘客も視野に入れ、他地域と広域で連携しつつ、市単独でも誘客に取り組みました。

(1) 他地域連携事業

東海地区外国人観光客誘致促進協議会、三重県外国人観光客誘致促進協議会、伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会等へ参画しました。

三重県外国人観光客誘致促進協議会では、台湾 I T F（国際旅行博）に参加し、伊勢市の P R に努めました。

また、伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会では、観光庁の実施する訪日旅行促進事業「ビジット・ジャパン事業」に参画し、伊勢志摩地域の P R や、旅行商品の企画販売等を協働で実施しました。

（２）市単独事業

①外国特派員への情報発信

平成 26 年 9 月 4 日、5 日に（公財）フォーリンプレスセンターを通じて外国特派員を招へいするプレスツアーを実施しました。外国特派員自身に伊勢を体験していただき、本国へ情報発信していただきました。

②外国人短期留学生招へい及び情報発信事業

平成 27 年 2 月 23 日から 3 月 13 日までの 3 週間、皇學館大学と協働で外国人短期留学生招へい事業を行いました。

日本・伊勢の歴史文化に興味を持つ欧米圏の学生に、皇學館大学の短期留学生として大学が構築したカリキュラムを伊勢の地で学んでいただき、また滞在中は S N S 等を活用し、毎日母国へ伊勢を発信していただきました。中には詳細なブログを構築してくれた方もいました。帰国後もゆるやかなつながりの中、伊勢のフェイスブックに「いいね」をして、伊勢の情報発信を手助けしてくれている者もいます。

③イギリスカンタベリーにおける伊勢 P R

平成 26 年 11 月 18 日、イギリスカンタベリーのケント大学で、皇學館大学が「神都・伊勢の歴史と文化」シンポジウムを開催するのに合わせ、伊勢市の観光 P R を行いました。具体的には、ケント大学関係者及びカンタベリー市民の皆様に伊勢市の観光パンフレットを配布し、伊勢市に関するアンケートを実施しました。この訪問では、伊勢市長とカンタベリー市長の面会も実施され意見交換を行いました。

④香港観光 P R

平成 27 年 1 月 7 日から 1 月 13 日、中国・香港にて（公社）伊勢市観光協会と協働で香港そごう「中部フェア in 香港」に参加し、伊勢の観光物産展を実施しました。

6 スポーツ誘客推進事業

伊勢フットボールヴィレッジを活用した誘客大会の創設等による利用者の確保及び施設の戦略的な情報発信を行うため、プロポーザルにより選定した業者に業務委託を行いました。なお、契約期間が年度をまたぐため、平成 25 年度に債務負担行為を行いました。

委託期間：平成 26 年 2 月 3 日～平成 27 年 1 月 30 日

委託業者：㈱ジャパン・スポーツ・プロモーション

委託金額：4,968,000 円

大会開催実績

日程	カテゴリー	参加チーム数	宿泊数
26. 3. 24(月)～26. 3. 27(木)	男子ユース	13 チーム	328 人
26. 4. 1(火)～26. 4. 3(木)	女子ユース	20 チーム	736 人
26. 8. 4(月)～26. 8. 7(木)	女子ユース	4 チーム	46 人
26. 8. 17(日)～26. 8. 20(水)	男子ユース	4 チーム	354 人
26. 8. 23(土)～26. 8. 24(日)	ジュニア	12 チーム	17 人
26. 8. 25(月)～26. 8. 30(土)	合宿（高校）	1 チーム	563 人
26. 10. 11(土)～26. 10. 13(月)※	ジュニア	24 チーム	157 人
27. 1. 10(土)～27. 1. 12(月)	女子ユース	6 チーム	272 人
合 計		84 チーム	2,473 人

※台風 19 号の影響により大会日程を縮小（10. 13 は中止）

また、市内での各種スポーツ大会や合宿を誘致し、経済効果を高めるため市内宿泊者数に応じた補助金交付事業を実施しました。補助制度の周知を図るため P R チラシを作成し、中部・近畿・中国及び四国地方等の大学に送付しました。

・申請件数等の実績

	平成 26 年度	平成 25 年度
申請件数	102 件	53 件
補助金確定額	20,302 千円	12,230 千円
宿泊者数	22,086 人	13,628 人

7 初旅いせ事業

「初 TABI in 伊勢」という名称のキャンペーンで若者（18 歳～24 歳）に伊勢を訪れ、楽しんでもらう「きっかけ」を提供し、伊勢への初めての旅を体験してもらうことで、その若者が何度も伊勢を訪れるリピーターになることを目指した取組を実施しました。

委託先：株式会社リクルートホールディングス

委託金額：50,000,000 円

委託期間：平成 26 年 6 月 16 日～平成 27 年 3 月 30 日

キャンペーン実施期間：平成 27 年 1 月 26 日～3 月 22 日

参画事業者数：宿泊施設 32 軒、店舗等 100 軒

（1）誘客・情報発信等

特設サイト開設・運営、宿泊割引クーポンの発行、限定宿泊プランの提供、テレビ番組の制作・放映、旅行雑誌への特集記事掲載、会員向けメールマガジン等

（２）滞在・消費促進の取り組み

参画店舗で使える特別ポイント提供、参画店舗独自の特典の提供、本事業用ガイドブック等の作成等

○ 御遷宮旅客受入推進事業

1 御遷宮誘客宣伝事業

本事業は平成 24・25 年度に特化した事業でしたが、平成 26 年は「おかげ年」であり、この機会に少しでも多くのリピーターを確保する必要があるため、事業を継続しました。PR に出向く「PR キャラバン」、伊勢単独旅行商品の販売を促進する「伊勢旅商品全国展開事業」、「“ようこそお伊勢さんへ” キャンペーン」の 3 事業を実施しました。

（１）PR キャラバン

キャラバンを組んで各地に出向き、チラシ配布や PR キャラのミニイベント等により PR を行いました。また同時にアンケートによる市場調査も行い、地域の傾向、認知度等を分析し、今後の観光施策の参考にしました。

対象地域は、人口規模が大きく発信力のある首都圏、リピーターが期待される大阪、重点遠隔地でありながら PR 不足だった九州の 3 地域に設定し、PR を行いました。

PR キャラバン実施状況

	実施日	開催場所	備考
1	4. 18-20	全国ふるさと観光物産展（豊中市）	伊勢市産業振興会（商工労政課）共同実施
2	5. 4	博多どんたく（福岡市）	“ようこそお伊勢さんへ” キャンペーンで実施
3	7. 2- 3	たまプラーザテラス（横浜市）	
4	7. 12-13	東京ソラマチ（東京都墨田区）	“ようこそお伊勢さんへ” キャンペーンで実施
5	8. 2- 3	わっしょい百万夏まつり（北九州市）	
6	9. 26-28	ツーリズムエキスポジャパン 2014 （東京都江東区）	
7	10. 18-19	たまプラーザ（横浜市）	
8	10. 19-20	プランタン銀座（東京都中央区）	J R タイアップイベント
9	12. 20-21	W A C C A 池袋（東京都豊島区）	J R タイアップイベント
10	1. 31- 2. 1	丸ビル（東京都千代田区）	J R タイアップイベント

（２）伊勢旅商品全国展開事業

伊勢への旅行機会創出を図るため、全国各地（北海道、東北、首都圏、東海、関西、中国・四国、九州）で、伊勢単独の旅行パンフレットを作成してもらうよう、各旅行会社に働きかけました。結果、大手旅行会社４社（13 商品）での、伊勢単独の旅行パンフレットの作成に繋がりました。

また、パンフレットの掲載内容については、伊勢市内の周遊性向上、市内宿泊施設の利用促進を図るため、当課の事業である「ターゲティング戦略推進事業（旧「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業）」で造成されたオプショナルプラン等を取扱い、伊勢市内の周遊性向上・市内消費の喚起に結びました。

（３）「“ようこそお伊勢さんへ” キャンペーン」の実施

平成 26 年 4 月～9 月の 6 か月間、「おかげ年」をキーワードに、リピーターの確保を目的としたキャンペーンを実施しました。

伊勢志摩広域での誘客キャンペーンとしてはすでに「伊勢志摩キャンペーン」がありますが、こちらは毎年、下半期の 10 月から実施されるため、上半期が空白になります。

今回、年度の上半期に「“ようこそお伊勢さんへ” キャンペーン」を実施することができ、遷宮のクライマックスであった 25 年度後半から途切れることなく、伊勢を P R し続けることができました。

a) 近畿日本鉄道（株）及び東海旅客鉄道（株）の企画切符によるプレゼント

近鉄と J R の企画切符でお越しいただいた方に、伊勢市駅観光案内所にて、参宮の木札と伊勢市内周遊に便利なミニブックをプレゼントしました。

b) 東西遠隔地での P R

東は東京スカイツリータウン、西は福岡ヤフオク！ドームという広報効果のある施設にて、大々的なキャンペーンの告知及び伊勢の P R を行いました。

c) 放送メディアとのタイアップ

福岡ヤフオク！ドームでの P R に関連し、R K B 毎日放送（株）とタイアップして、伊勢の紹介と当キャンペーンの内容についてテレビ放送しました。